

第6期陸別町総合計画策定のための

まちづくりアンケート調査 報告書

平成 31 年1月
陸別町

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の概要.....	3
2. 調査票の回収結果.....	3
3. 集計結果の表し方.....	3
第2章 一般向けアンケート集計結果.....	5
1. 回答者の属性.....	7
(1) 回答者の性別.....	7
(2) 回答者の年齢.....	7
(3) 回答者の居住地区.....	8
(4) 回答者の居住年数.....	8
2. 陸別町への愛着度・定住意向.....	9
(1) 陸別町への愛着度.....	9
(2) 陸別町の住みよさ.....	10
(3) 陸別町への定住意向.....	12
(4) 他市町村に移り住みたい理由.....	14
3. 陸別町の取組について.....	17
(1) 現状の満足度.....	17
(2) 今後の重要度.....	19
(3) 評価点による評価.....	21
4. 今後のまちづくりについて.....	29
(1) 陸別町の将来像.....	29
(2) 陸別町が力を入れるべき分野.....	31
5. 産業振興について.....	34
(1) 産業振興で力を入れるべき分野.....	34
(2) 産業振興のために大切なこと.....	36
6. 少子化対策について.....	38
(1) 少子化対策として力を入れるべき分野.....	38
7. 高齢者福祉について.....	40
(1) 老後を考えたとき不安に思うこと.....	40
(2) 充実した老後を送るために大切なこと.....	42
(3) 町民が健康な生活を送るために大切なこと.....	44
8. 生涯学習について.....	46
(1) 参加したい生涯学習活動.....	46
9. まちづくりへの住民参画について.....	48
(1) まちづくりへの町民意向の反映.....	48
(2) 町民の声を陸別町のまちづくりに活かすために大切なこと.....	49
(3) 参加している地域団体活動.....	51
(4) まちづくりで参加したい活動.....	53
(5) 行政サービスや財政運営で、役場が特に進めていくべき項目.....	55

第1章 調査の概要

1. 調査の概要

本調査は「第6期陸別町総合計画」（2020年度～2029年度）を策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	平成30年10月1日現在 一般向け：陸別町に在住する16歳以上の男女1,000人
抽出方法	無作為抽出調査（施設入所者以外）
調査期間	平成30年10～11月
調査方法	郵送による調査票の配布・回収

2. 調査票の回収結果

■調査票の全体回収率

	配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)	白票 (票)	有効回収数 (票)	有効回収率 (%)
一般向け	1,000	409	40.9	0	409	40.9

3. 集計結果の表し方

○調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。

○百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。

○クロス集計（男女別の集計など）の表については、分析軸の項目の後に（n）として、各項目の回答者数を表記しています。

○クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

○過去に実施したアンケート調査との比較では、以下の表記を用いています。

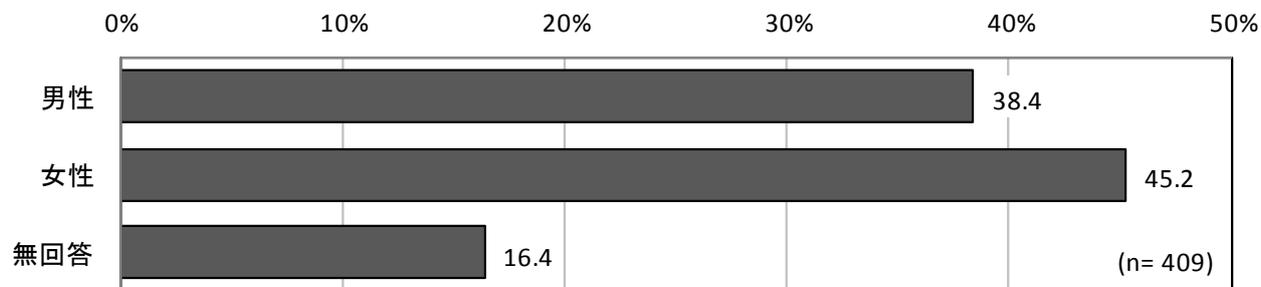
- ・「平成21年」：第5期陸別町総合計画を策定する際に実施したまちづくりアンケート調査結果（16歳以上の町民すべてを対象として実施）
- ・「平成30年」：今回調査（16歳以上の町民すべてを対象として実施）

第2章 一般向けアンケート集計結果

1. 回答者の属性

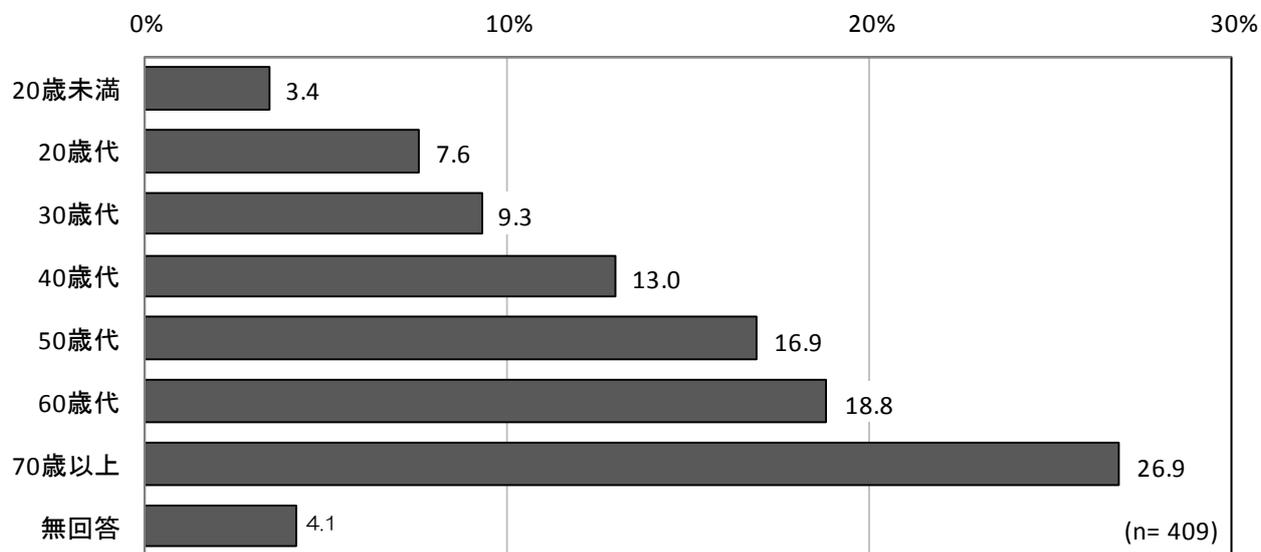
(1) 回答者の性別

性別は、「男性」が38.4%、「女性」が45.2%となっています。



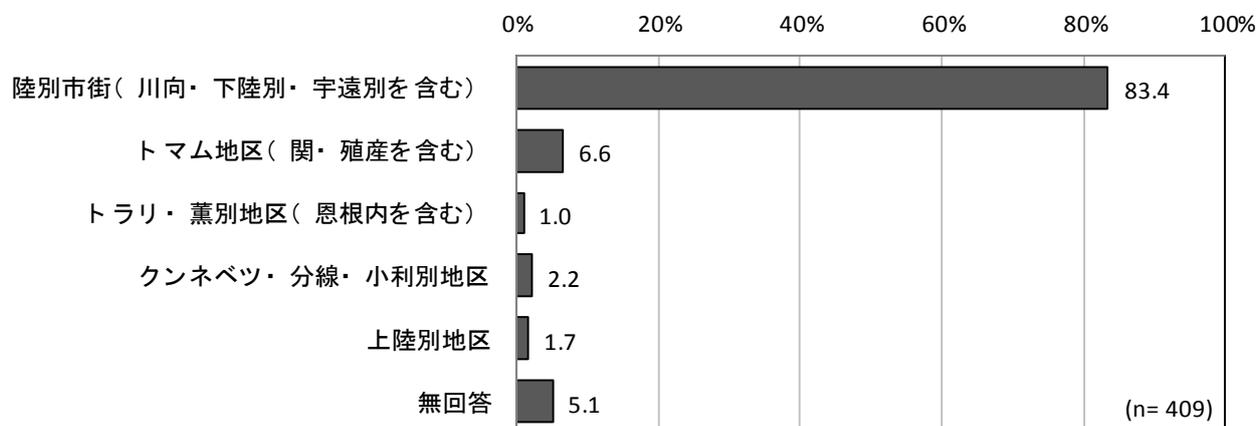
(2) 回答者の年齢

年齢は、「70歳以上」が26.9%で最も多く、次いで「60歳代」(18.8%)、「50歳代」(16.9%)と続いています。



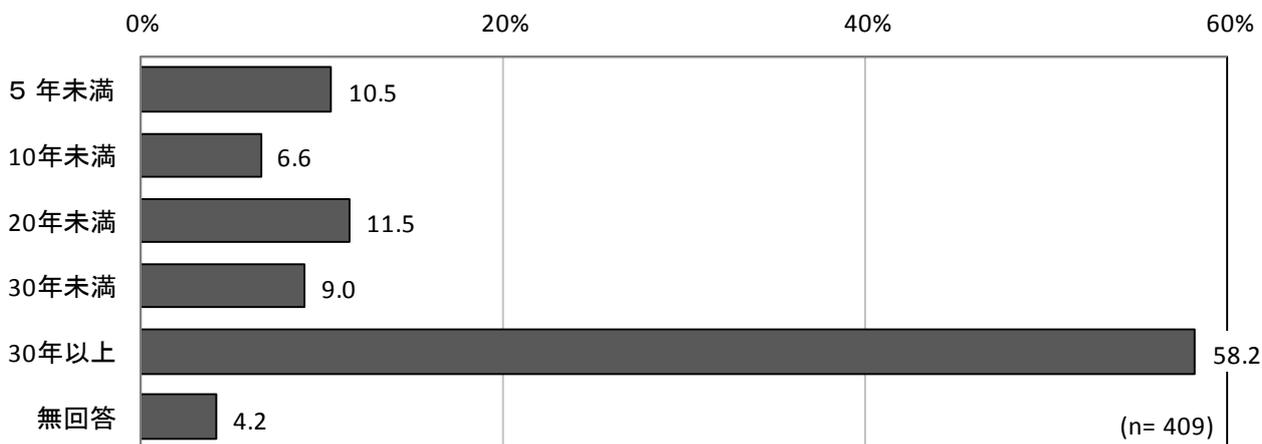
(3) 回答者の居住地区

居住地区は、「陸別市街（川向・下陸別・宇遠別を含む）」（83.4%）が最も多く8割以上を占め、次いで「トマム地区（関・殖産を含む）」（6.6%）、「クンネベツ・分線・小利別地区」（2.2%）と続いています。



(4) 回答者の居住年数

居住年数は、「30年以上」が58.2%で最も多く、次いで「20年未満」（11.5%）、「5年未満」（10.5%）と続いています。



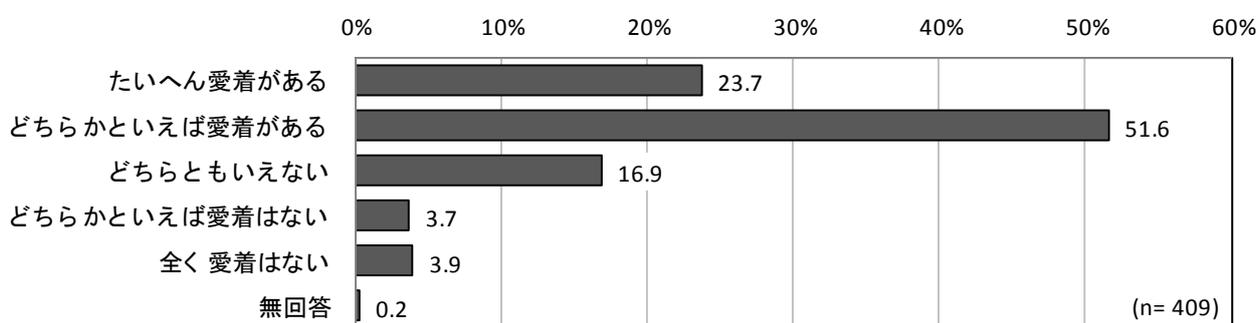
2. 陸別町への愛着度・定住意向

(1) 陸別町への愛着度

「たいへん愛着がある」(23.7%)と「どちらかといえば愛着がある」(51.6%)の合計が75.3%となっています。

一方、「どちらかといえば愛着はない」(3.7%)と「全く愛着はない」(3.9%)の合計は7.6%で、全体の1割未満の状況です。

問1 あなたは、陸別町に愛着を感じていますか。(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別に「たいへん愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」の合計をみると、男性は78.3%、女性は73.6%で、男性が4.7ポイント多い状況です。

○年齢階級別に「たいへん愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」の合計をみると、70歳以上が87.2%で最も多くなっていますが、20歳代が41.9%と極端に少なくなっています。

		n	たいへん愛着がある	どちらかといえば愛着がある	どちらともいえない	どちらかといえば愛着はない	全く愛着はない	無回答
全体		409	23.7	51.6	16.9	3.7	3.9	0.2
性別	男性	157	26.1	52.2	13.4	4.5	3.8	0.0
	女性	185	19.5	54.1	20.5	2.2	3.8	0.0
年齢	20歳未満	14	14.3	71.4	7.1	0.0	7.1	0.0
	20歳代	31	12.9	29.0	25.8	12.9	19.4	0.0
	30歳代	38	10.5	50.0	23.7	7.9	7.9	0.0
	40歳代	53	24.5	52.8	15.1	5.7	1.9	0.0
	50歳代	69	15.9	53.6	24.6	1.4	4.3	0.0
	60歳代	77	28.6	51.9	15.6	2.6	1.3	0.0
	70歳以上	110	34.5	52.7	10.9	0.9	0.0	0.9

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別に「たいへん愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」の合計をみると、居住年数が少ないほど愛着のある人が少なく、5年未満では44.2%となっています。

		n	たいへん愛着がある	どちらかといえば愛着がある	どちらともいえない	どちらかといえば愛着はない	全く愛着はない	無回答
全体		409	23.7	51.6	16.9	3.7	3.9	0.2
居住年数	5年未満	43	9.3	34.9	32.6	11.6	11.6	0.0
	10年未満	27	18.5	44.4	11.1	11.1	14.8	0.0
	20年未満	47	19.1	53.2	21.3	2.1	4.3	0.0
	30年未満	37	18.9	62.2	16.2	0.0	2.7	0.0
	30年以上	238	28.6	53.4	14.3	2.1	1.3	0.4

(%)

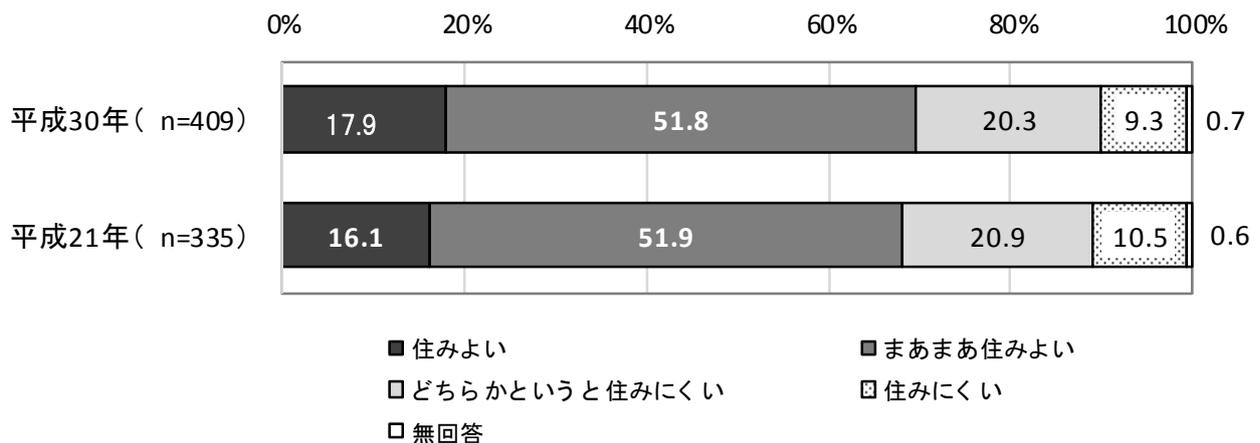
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 陸別町の住みよさ

全体でみると、「住みよい」(17.8%)と「まあまあ住みよい」(51.8%)の合計は69.6%となっています。一方、「どちらかというに住みにくい」(20.3%)と「住みにくい」(9.3%)の合計は29.6%で、全体の3割程度の状況です。

平成21年調査との比較でも、住みよさに大きな変化はみられませんでした。

問2 あなたは、陸別町は住みよいと思いますか。(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でも大きな差異はみられませんが、年齢階級別に「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計をみると、20歳代が48.4%、30歳代が52.6%と全体と比べて少なくなっています。

(%)

		n	住みよい	まあまあ住みよい	どちらかという 住みにくい	住みにくい	無回答
全体		409	17.9	51.8	20.3	9.3	0.7
性別	男性	157	17.2	54.8	19.1	8.9	0.0
	女性	185	17.8	53.0	19.5	9.2	0.5
年齢	20歳未満	14	21.4	42.9	28.6	7.1	0.0
	20歳代	31	6.5	41.9	19.4	32.3	0.0
	30歳代	38	2.6	50.0	28.9	18.4	0.0
	40歳代	53	9.4	56.6	24.5	9.4	0.0
	50歳代	69	13.0	53.6	23.2	10.1	0.0
	60歳代	77	15.6	50.6	26.0	5.2	2.6
	70歳以上	110	37.3	52.7	6.4	2.7	0.9

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別に「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計をみると、5年未満と10年未満ではどちらも50%を下回っている状況です。

(%)

		n	住みよい	まあまあ住みよい	どちらかという 住みにくい	住みにくい	無回答
全体		409	17.9	51.8	20.3	9.3	0.7
居住 年数	5年未満	43	7.0	41.9	27.9	23.3	0.0
	10年未満	27	18.5	25.9	33.3	22.2	0.0
	20年未満	47	14.9	53.2	23.4	8.5	0.0
	30年未満	37	5.4	59.5	29.7	5.4	0.0
	30年以上	238	23.5	54.6	14.7	5.9	1.3

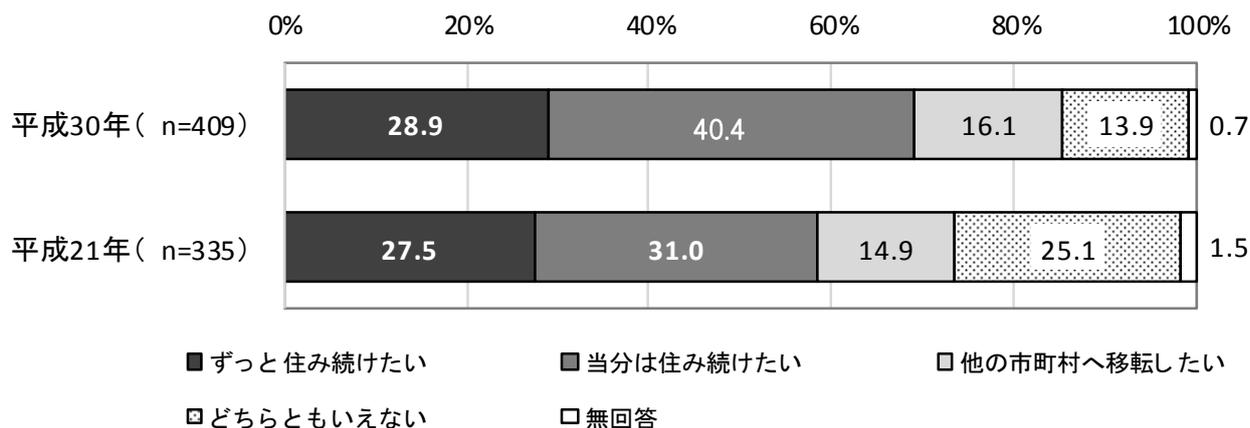
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 陸別町への定住意向

全体でみると、「当分は住み続けたい」が40.3%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」(28.9%)、「他の市町村へ移転したい」(16.1%)と続いています。

平成21年調査と比べると、「当分は住み続けたい」が9.3ポイント程度上昇し、「他の市町村へ移転したい」が11.2ポイント減少しており、定住意向のある人が増えている状況です。

問3 あなたは、将来も陸別町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、どちらも「当分は住み続けたい」が最も多く4割程度となっていますが、「ずっと住み続けたい」は男性の方が7ポイント程度高く、逆に「他の市町村へ移転したい」が5ポイント程度低い状況です。

○年齢階級別でみると、40歳代未満は「他の市町村へ移転したい」が多く、特に20歳未満ではその割合が42.9%と高くなっています。

		n	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	他の市町村へ移転したい	どちらともいえない	無回答
全体		409	28.9	40.4	16.1	13.9	0.7
性別	男性	157	32.5	39.5	14.0	12.7	1.3
	女性	185	25.9	42.2	18.4	13.5	0.0
年齢	20歳未満	14	7.1	21.4	42.9	28.6	0.0
	20歳代	31	3.2	38.7	29.0	29.0	0.0
	30歳代	38	13.2	39.5	31.6	15.8	0.0
	40歳代	53	18.9	56.6	13.2	11.3	0.0
	50歳代	69	20.3	46.4	13.0	18.8	1.4
	60歳代	77	36.4	36.4	13.0	11.7	2.6
	70歳以上	110	50.0	34.5	9.1	6.4	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別でみると、30年以上では「ずっと住みたい」が39.9%で最も多く、他の居住年数では「当分は住みたい」が最も多くなっています。一方、5年未満、10年未満及び20年未満では、「他の市町村へ移転したい」も30%程度と非常に多くなっています。

(%)

		n	ずっと 住みたい	当分は 住みたい	他の市町村へ 移転したい	どちらとも いえない	無回答
全体		409	28.9	40.4	16.1	13.9	0.7
居住 地区	5年未満	43	9.3	37.2	25.6	27.9	0.0
	10年未満	27	11.1	40.7	33.3	14.8	0.0
	20年未満	47	12.8	38.3	29.8	17.0	2.1
	30年未満	37	16.2	59.5	13.5	8.1	2.7
	30年以上	238	39.9	38.2	10.1	11.3	0.4

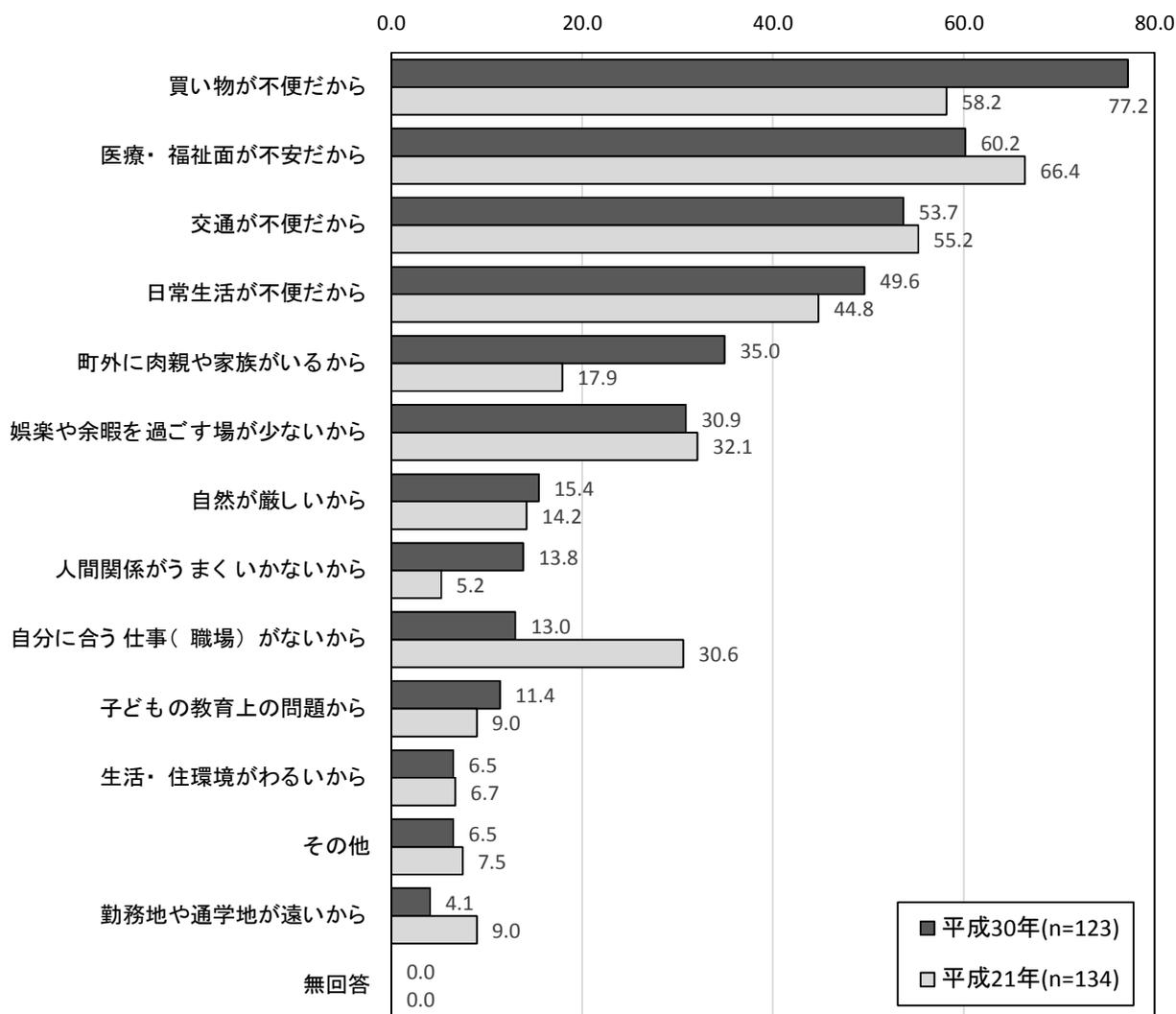
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(4) 他市町村に移り住みたい理由

他市町村に移り住みたい理由は、「買い物が不便だから」が 77.2%で最も多く、次いで「医療・福祉面が不安だから」(60.2%)、「交通が不便だから」(53.7%)、「日常生活が不便だから」(49.6%)が続いています。

平成 21 年調査と比べると、「買い物が不便だから」と「町外に肉親や家族がいるから」はともに 20 ポイント程度増加しています。逆に、「自分に合う仕事(職場)がないから」は 17.6 ポイント、「医療・福祉面が不安だから」は 6.2 ポイント減少しています。

問3-1 他市町村に移り住みたいと思う理由は何ですか。(5つまでに○印)



【その他の内容】

- ・テイクアウトや外食先がないから。
- ・なんとなく別のところで住んでみたい。
- ・知っている人同士で悪口を言う人が多いから。よそ者は耐えるのみ。
- ・将来の医療について特に不安。
- ・寒さが激しく体調にダメージ。

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、ともに「買い物が不便だから」が最も多く、どちらも70%以上となっています。

○年齢階級別でみると、20歳未満と40歳代を除くすべての年代で「買い物が不便だから」が最も多く、特に、60歳代と70歳以上では90%程度となっています。一方、20歳未満では「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」と「自分に合う仕事（職場）がないから」がともに60.0%で最も多くなっています。

(%)

		n	買い物が不便だから	医療・福祉面が不安だから	交通が不便だから	日常生活が不便だから	町外に肉親や家族がいるから
全体		123	77.2	60.2	53.7	49.6	35.0
性別	男性	42	71.4	54.8	45.2	50.0	31.0
	女性	59	78.0	62.7	59.3	47.5	40.7
年齢	20歳未満	10	50.0	10.0	50.0	20.0	0.0
	20歳代	18	72.2	33.3	44.4	61.1	38.9
	30歳代	18	83.3	66.7	50.0	44.4	33.3
	40歳代	13	61.5	69.2	30.8	38.5	30.8
	50歳代	22	77.3	77.3	50.0	45.5	40.9
	60歳代	19	89.5	52.6	63.2	68.4	42.1
	70歳以上	17	88.2	76.5	82.4	58.8	35.3

		n	娯楽や余暇を過ごす場が少ないから	自然が厳しいから	人間関係がうまくいかないから	自分に合う仕事（職場）がないから	子どもの教育上の問題から
全体		123	30.9	15.4	13.8	13.0	11.4
性別	男性	42	33.3	11.9	16.7	14.3	14.3
	女性	59	30.5	15.3	11.9	11.9	10.2
年齢	20歳未満	10	60.0	0.0	0.0	60.0	11.4
	20歳代	18	50.0	0.0	27.8	11.1	0.0
	30歳代	18	27.8	0.0	11.1	11.1	27.8
	40歳代	13	15.4	7.7	23.1	0.0	33.3
	50歳代	22	31.8	9.1	22.7	22.7	7.7
	60歳代	19	21.1	42.1	0.0	5.3	0.0
	70歳以上	17	5.9	41.2	5.9	0.0	5.3

		n	生活・住環境がわるいから	その他	勤務地や通学地が遠いから	無回答
全体		123	6.5	6.5	4.1	0.0
性別	男性	42	2.4	7.1	4.8	0.0
	女性	59	8.5	8.5	5.1	0.0
年齢	20歳未満	10	10.0	0.0	30.0	0.0
	20歳代	18	5.6	5.6	0.0	0.0
	30歳代	18	11.1	11.1	5.6	0.0
	40歳代	13	0.0	7.7	0.0	0.0
	50歳代	22	9.1	4.5	4.5	0.0
	60歳代	19	5.3	10.5	0.0	0.0
	70歳以上	17	0.0	5.9	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別でみると、すべての居住年数で「買い物が不便だから」が最も多く、特に、30年以上では9割程度となっています。

		n	買い物が不便だから	医療・福祉面が不安だから	交通が不便だから	日常生活が不便だから	町外に肉親や家族がいるから
全体		123	77.2	60.2	53.7	49.6	35.0
居住年数	5年未満	23	69.6	34.8	34.8	52.2	47.8
	10年未満	13	69.2	61.5	23.1	61.5	61.5
	20年未満	22	63.6	45.5	59.1	27.3	9.1
	30年未満	8	75.0	62.5	75.0	62.5	12.5
	30年以上	51	88.2	72.5	64.7	54.9	35.3

(%)

		n	娯楽や余暇を過ごす場が少ないから	自然が厳しいから	人間関係がうまくいかないから	自分に合う仕事(職場)がないから	子どもの教育上の問題から
全体		123	30.9	15.4	13.8	13.0	11.4
居住年数	5年未満	23	34.8	0.0	30.4	13.0	8.7
	10年未満	13	30.8	7.7	7.7	15.4	23.1
	20年未満	22	40.9	9.1	4.5	27.3	18.2
	30年未満	8	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0
	30年以上	51	23.5	27.5	9.8	7.8	3.9

		n	生活・住環境がわるいから	その他	勤務地や通学地が遠いから	無回答
全体		123	6.5	6.5	4.1	0.0
居住年数	5年未満	23	0.0	4.3	4.3	0.0
	10年未満	13	7.7	15.4	7.7	0.0
	20年未満	22	9.1	9.1	13.6	0.0
	30年未満	8	25.0	0.0	0.0	0.0
	30年以上	51	3.9	5.9	0.0	0.0

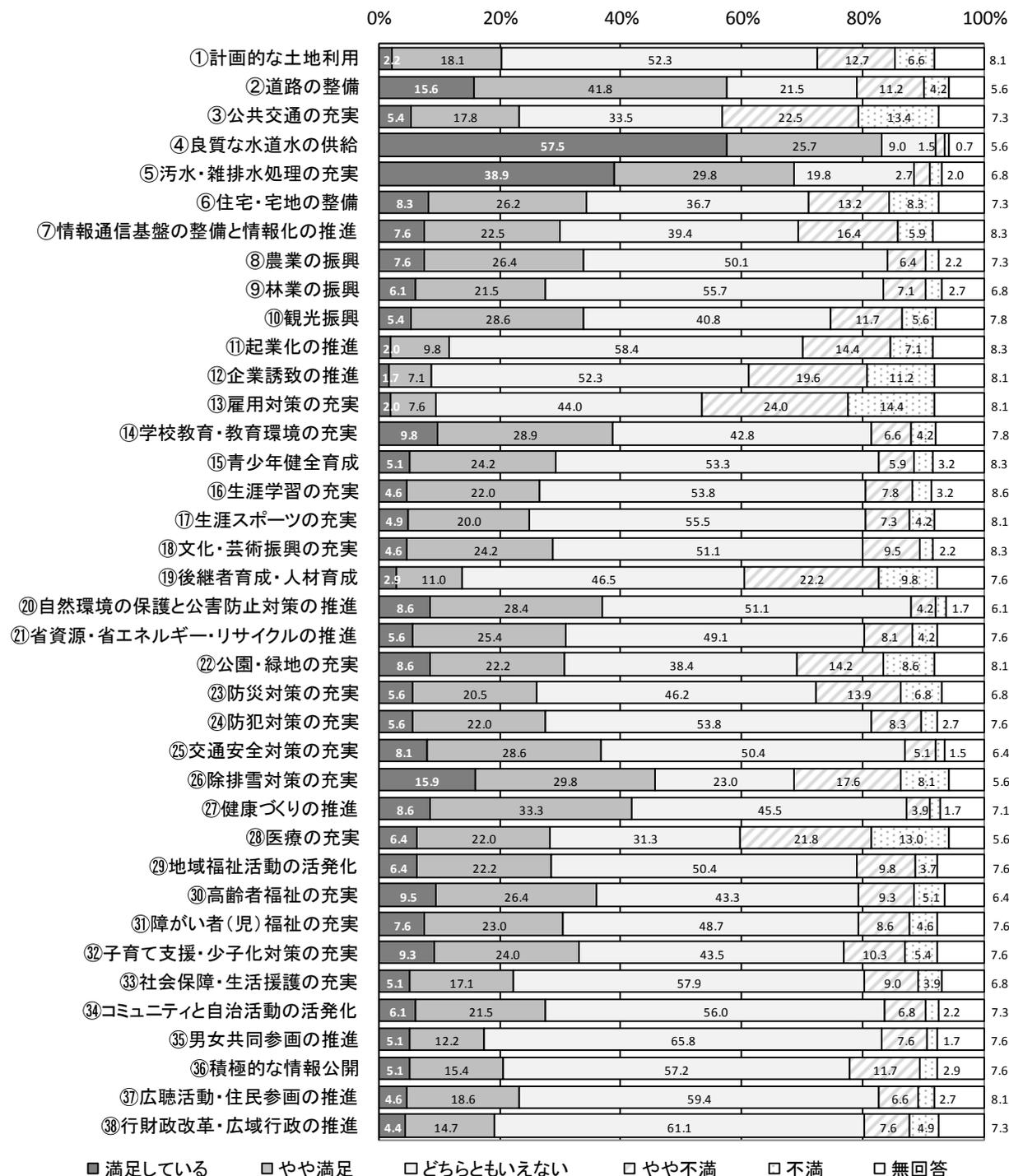
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

3. 陸別町の取組について

(1) 現状の満足度

問4 陸別町の現状と今後の取組についておたずねします。

(1) あなたは、陸別町の現状について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つに○印)



①満足度が高い項目

「満足している」と「やや満足」の合計の上位 10 項目は下表のとおりとなっています。

「④良質な水道水の供給」（83.2%）が最も満足度が高く、次いで「⑤汚水・雑排水処理の充実」（68.7%）、「②道路の整備」（57.4%）が続いており、生活インフラに関連する項目で満足度が高くなっています。

順位	満足度が高い 10 項目	満足度の集計結果 (%)		
		満足している (A)	やや満足 (B)	満足の合計 (A)+(B)
1	④良質な水道水の供給	57.5	25.7	83.2
2	⑤汚水・雑排水処理の充実	38.9	29.8	68.7
3	②道路の整備	15.6	41.8	57.4
4	⑭除排雪対策の充実	15.9	29.8	45.7
5	⑳健康づくりの推進	8.6	33.3	41.9
6	⑭学校教育・教育環境の充実	9.8	28.9	38.7
7	⑳自然環境の保護と公害防止対策の推進	8.6	28.4	37.0
8	㉑交通安全対策の充実	8.1	28.6	36.7
9	㉒高齢者福祉の充実	9.5	26.4	35.9
10	⑥住宅・宅地の整備	8.3	26.2	34.5

②満足度が低い項目

「やや不満」と「不満」の合計の上位 10 項目は下表のとおりとなっています。

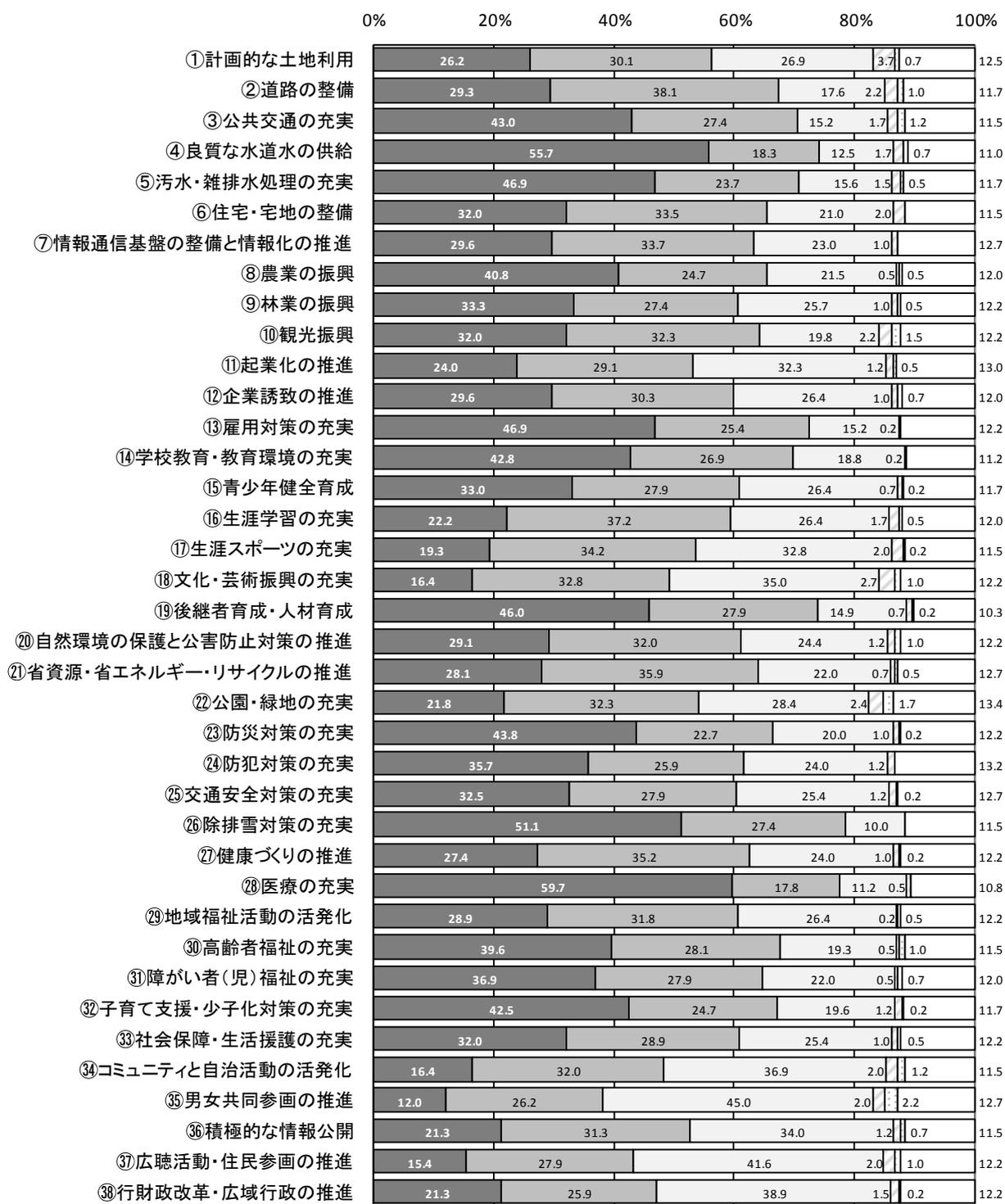
「⑬雇用対策の充実」（38.4%）が最も不満の割合が高く、次いで「③公共交通の充実」（35.9%）、「㉓医療の充実」（34.8%）と続いています。

順位	満足度が低い 10 項目	満足度の集計結果 (%)		
		やや不満 (A)	不満 (B)	不満の合計 (A)+(B)
1	⑬雇用対策の充実	24.0	14.4	38.4
2	③公共交通の充実	22.5	13.4	35.9
3	㉓医療の充実	21.8	13.0	34.8
4	⑱後継者育成・人材育成	22.2	9.8	32.0
5	⑫企業誘致の推進	19.6	11.2	30.8
6	⑭除排雪対策の充実	17.6	8.1	25.7
7	㉔公園・緑地の充実	14.2	8.6	22.8
8	⑦情報通信基盤の整備と情報化の推進	16.4	5.9	22.3
9	⑪起業化の推進	14.4	7.1	21.5
10	⑥住宅・宅地の整備	13.2	8.3	21.5

(2) 今後の重要度

問4 陸別町の現状と今後の取組についておたずねします。

(2) あなたは、陸別町の今後の取組について、どの程度重視していますか。(それぞれ1つに○印)



■重要である □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要でない □重要ではない □無回答

①重要度が高い項目

「重要である」と「やや重要である」の合計は、「⑳除排雪対策の充実」が78.5%で最も多く、次いで「㉔医療の充実」（77.5%）、「④良質な水道水の供給」（74.1%）と続いています。

一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計は、「①計画的な土地利用」が4.4%で最も多く、次いで「㉒公園・緑地の充実」（4.2%）、「㉓男女共同参画の推進」（4.2%）と続いています。

《重要度が高い10項目》

順位	重要度が高い10項目	重要度の集計結果(%)		
		重要である(A)	やや重要である(B)	重要であるの合計(A+B)
1	⑳除排雪対策の充実	51.1	27.4	78.5
2	㉔医療の充実	59.7	17.8	77.5
3	④良質な水道水の供給	55.7	18.3	74.0
4	⑲後継者育成・人材育成	46.0	27.9	73.9
5	⑬雇用対策の充実	46.9	25.4	72.3
6	⑤汚水・雑排水処理の充実	46.9	23.7	70.6
7	③公共交通の充実	43.0	27.4	70.4
8	⑭学校教育・教育環境の充実	42.8	26.9	69.7
9	⑳高齢者福祉の充実	39.6	28.1	67.7
10	②道路の整備	29.3	38.1	67.4

②重要度が低い項目

順位	重要度が低い10項目	重要度の集計結果(%)		
		あまり重要ではない(A)	重要ではない(B)	重要ではないの合計(A+B)
1	①計画的な土地利用	3.7	0.7	4.4
2	㉒公園・緑地の充実	2.4	1.7	4.1
3	㉓男女共同参画の推進	2.0	2.2	4.2
4	⑩観光振興	2.2	1.5	3.7
5	⑱文化・芸術振興の充実	2.7	1.0	3.7
6	②道路の整備	2.2	1.0	3.2
7	⑳コミュニティと自治活動の活発化	2.0	1.2	3.2
8	③公共交通の充実	1.7	1.2	2.9
9	㉗広聴活動・住民参画の推進	2.0	1.0	3.0
10	④良質な水道水の供給	1.7	0.7	2.4

(3) 評価点による評価

■評価点の計算方法について

問4の各項目の満足度及び重要度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

※満足度の評価点（加重平均）の算出方法			
評価点 =	「満足している」の回答者数	× 10点	} ÷無回答以外の回答者数
	「やや満足」の回答者数	× 5点	
	「どちらともいえない」の回答者数	× 0点	
	「やや不満」の回答者数	× -5点	
	「不満」の回答者数	× -10点	

※重要度の評価点（加重平均）の算出方法			
評価点 =	「重要である」の回答者数	× 10点	} ÷無回答以外の回答者数
	「やや重要である」の回答者数	× 5点	
	「どちらともいえない」の回答者数	× 0点	
	「あまり重要でない」の回答者数	× -5点	
	「重要ではない」の回答者数	× -10点	

①満足度の評価点

施策項目	評価点
①計画的な土地利用	-0.19
②道路の整備	2.84
③公共交通の充実	-1.12
④良質な水道水の供給	7.29
⑤汚水・雑排水処理の充実	5.42
⑥住宅・宅地の整備	0.70
⑦情報通信基盤の整備と情報化の推進	0.52
⑧農業の振興	1.66
⑨林業の振興	1.14
⑩観光振興	0.89
⑪起業化の推進	-0.81
⑫企業誘致の推進	-1.72
⑬雇用対策の充実	-2.25
⑭学校教育・教育環境の充実	1.82
⑮青少年健全育成	1.21
⑯生涯学習の充実	0.94
⑰生涯スポーツの充実	0.77
⑱文化・芸術振興の充実	1.07
⑲後継者育成・人材育成	-1.35
⑳自然環境の保護と公害防止対策の推進	2.02
㉑省資源・省エネルギー・リサイクルの推進	1.10
㉒公園・緑地の充実	0.44
㉓防災対策の充実	0.22
㉔防犯対策の充実	1.06
㉕交通安全対策の充実	1.96
㉖除排雪対策の充実	1.48
㉗健康づくりの推進	2.32
㉘医療の充実	-0.69
㉙地域福祉活動の活発化	0.97
㉚高齢者福祉の充実	1.38
㉛障がい者（児）福祉の充実	1.10
㉜子育て支援・少子化対策の充実	1.16
㉝社会保障・生活援護の充実	0.56
㉞コミュニティと自治活動の活発化	1.21
㉟男女共同参画の推進	0.62
㊱積極的な情報公開	0.44
㊲広聴活動・住民参画の推進	0.86
㊳行財政改革・広域行政の推進	0.33

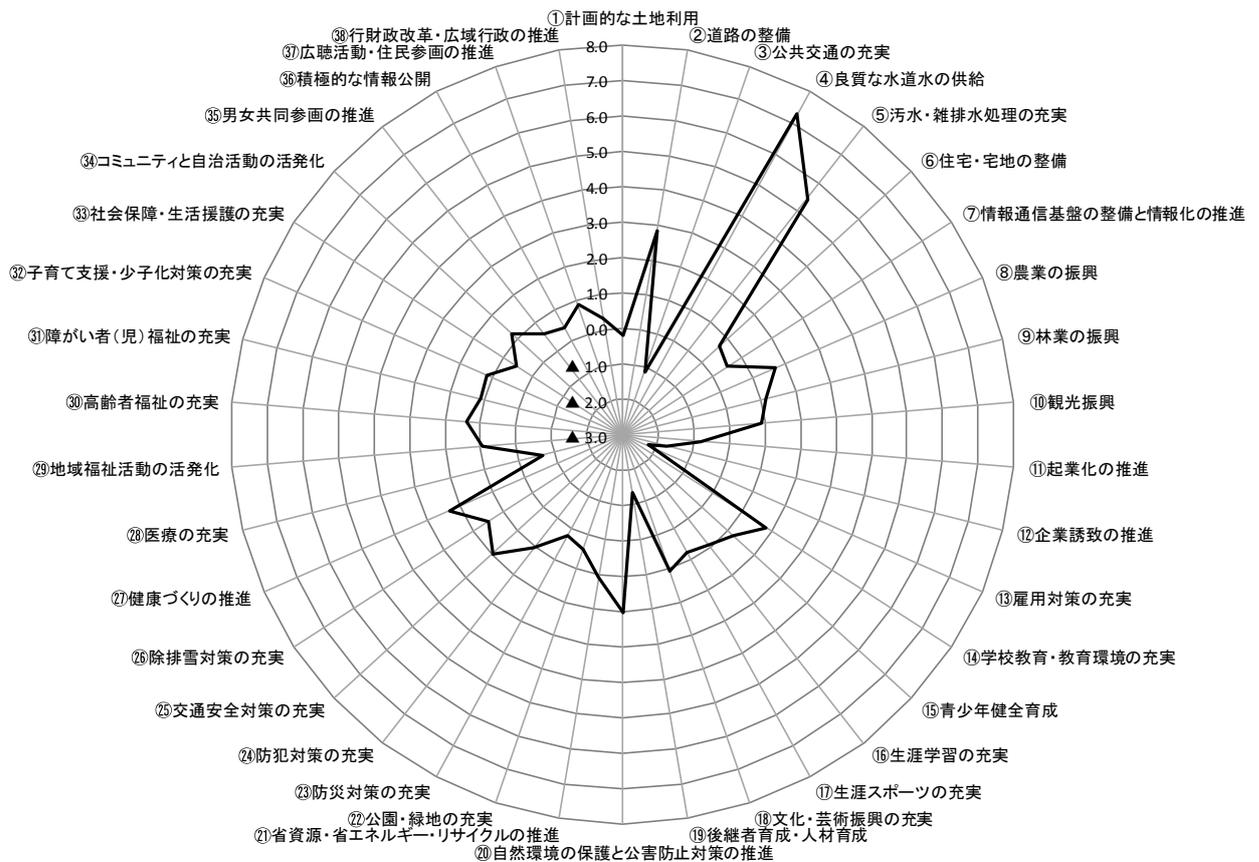
評価点による満足度においても、「④良質な水道水の供給」が7.29で最も評価点が高く、次いで「⑤汚水・雑排水処理の充実」（5.42）、「②道路の整備」（2.84）と続いています。

一方、「⑬雇用対策の充実」は-2.25で最も評価点が低く、次いで「⑫企業誘致の推進」（-1.72）、「⑲後継者育成・人材育成」（-1.35）と続いています。

《満足度評価／全体》

上位5項目		
順位	項目	評価点
1	④良質な水道水の供給	7.29
2	⑤汚水・雑排水処理の充実	5.42
3	②道路の整備	2.84
4	⑰健康づくりの推進	2.32
5	⑳自然環境の保護と公害防止対策の推進	2.02

下位5項目		
順位	項目	評価点
1	⑬雇用対策の充実	-2.25
2	⑫企業誘致の推進	-1.72
3	⑲後継者育成・人材育成	-1.35
4	③公共交通の充実	-1.12
5	⑪起業化の推進	-0.81



②重要度の評価点

施策項目	評価点
①計画的な土地利用	4.41
②道路の整備	5.25
③公共交通の充実	6.17
④良質な水道水の供給	7.12
⑤汚水・雑排水処理の充実	6.52
⑥住宅・宅地の整備	5.40
⑦情報通信基盤の整備と情報化の推進	5.27
⑧農業の振興	5.96
⑨林業の振興	5.24
⑩観光振興	5.19
⑪起業化の推進	4.30
⑫企業誘致の推進	4.94
⑬雇用対策の充実	6.78
⑭学校教育・教育環境の充実	6.32
⑮青少年健全育成	5.25
⑯生涯学習の充実	4.49
⑰生涯スポーツの充実	3.98
⑱文化・芸術振興の充実	3.47
⑲後継者育成・人材育成	6.61
⑳自然環境の保護と公害防止対策の推進	4.96
㉑省資源・省エネルギー・リサイクルの推進	5.18
㉒公園・緑地の充実	4.04
㉓防災対策の充実	6.20
㉔防犯対策の充実	5.54
㉕交通安全対策の充実	5.22
㉖除排雪対策の充実	7.32
㉗健康づくりの推進	5.04
㉘医療の充実	7.66
㉙地域福祉活動の活発化	5.03
㉚高齢者福祉の充実	5.93
㉛障がい者（児）福祉の充実	5.67
㉜子育て支援・少子化対策の充実	6.12
㉝社会保障・生活援護の充実	5.18
㉞コミュニティと自治活動の活発化	3.41
㉟男女共同参画の推進	2.51
㊱積極的な情報公開	4.02
㊲広聴活動・住民参画の推進	3.12
㊳行財政改革・広域行政の推進	3.79

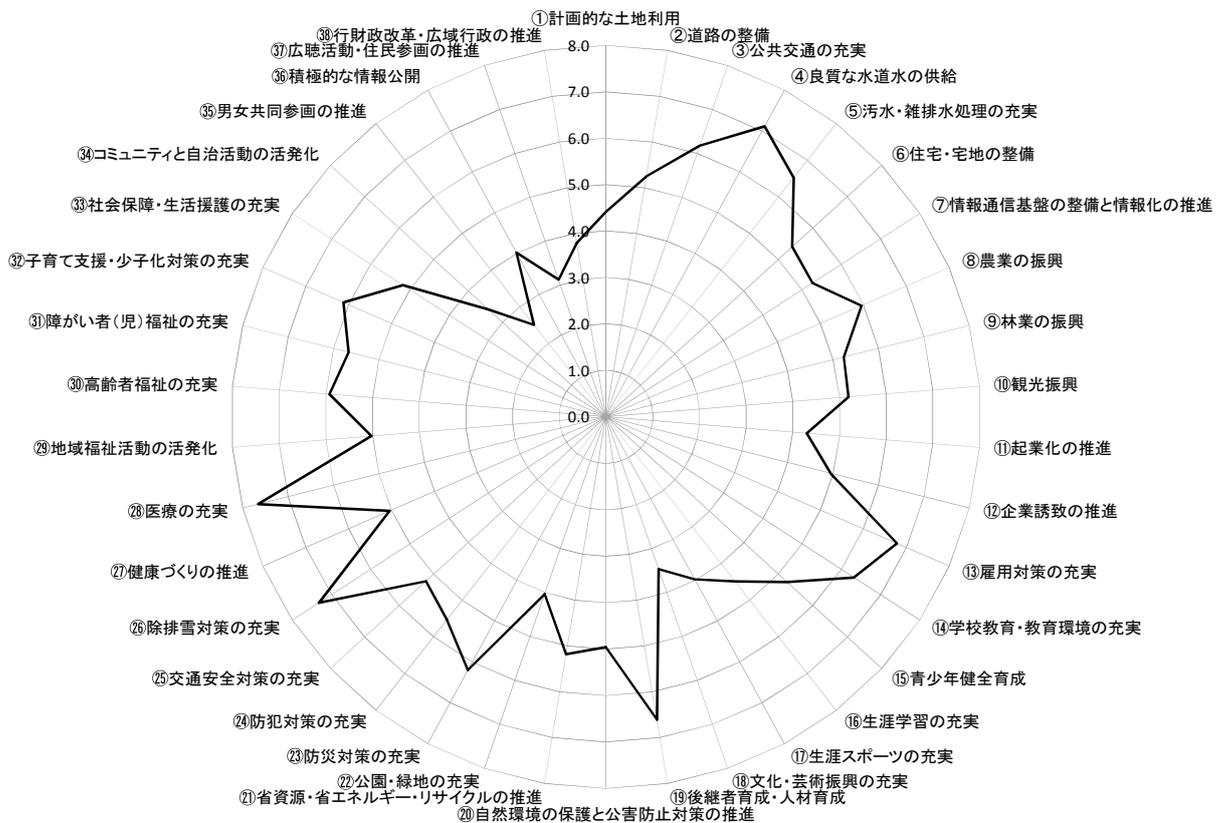
評価点による重要度においては、「⑳医療の充実」が7.66で最も評価点が高く、次いで「㉔除排雪対策の充実」（7.32）、「④良質な水道水の供給」（7.12）と続いています。

一方、「㉓男女共同参画の推進」は2.51で最も評価点が低く、次いで「㉗広聴活動・住民参画の推進」（3.12）、「㉒コミュニティと自治活動の活発化」（3.41）と続いています。

《重要度評価／全体》

上位5項目		
順位	項目	評価点
1	㉔医療の充実	7.66
2	㉔除排雪対策の充実	7.32
3	④良質な水道水の供給	7.12
4	㉑雇用対策の充実	6.78
5	㉑後継者育成・人材育成	6.61

下位5項目		
順位	項目	評価点
1	㉓男女共同参画の推進	2.51
2	㉗広聴活動・住民参画の推進	3.12
3	㉒コミュニティと自治活動の活発化	3.41
4	㉑文化・芸術振興の充実	3.47
5	㉒行財政改革・広域行政の推進	3.79



③今後力を入れるべき施策項目

施策項目の満足度と重要度に関して偏差値による分析※を行い、改善度を算出しました。また、改善度がプラスの項目を“改善の優先度が高いと思われる項目”、マイナスの項目を“改善の優先度が低いと思われる項目”として整理しました。

この分析によって、今後力を入れるべき施策として改善の必要性が高い上位5項目を抽出したところ、全体では「⑬雇用対策の充実」「⑳医療の充実」「⑲後継者育成・人材育成」「③公共交通の充実」「⑫企業誘致の推進」となり、これらの項目は改善の優先度が高いと考えられます。

《改善の優先度が高い項目（改善度が高い上位5項目）》

改善の優先度が非常に高い項目	改善度
⑬雇用対策の充実	4.87
⑳医療の充実	3.88
⑲後継者育成・人材育成	2.92
③公共交通の充実	1.99
⑫企業誘致の推進	1.69

※偏差値による分析について

満足度評価と重要度評価それぞれの偏差値を算出し、重要度偏差値を横軸に、満足度偏差値を縦軸にとり、散布図に各項目をプロットします。

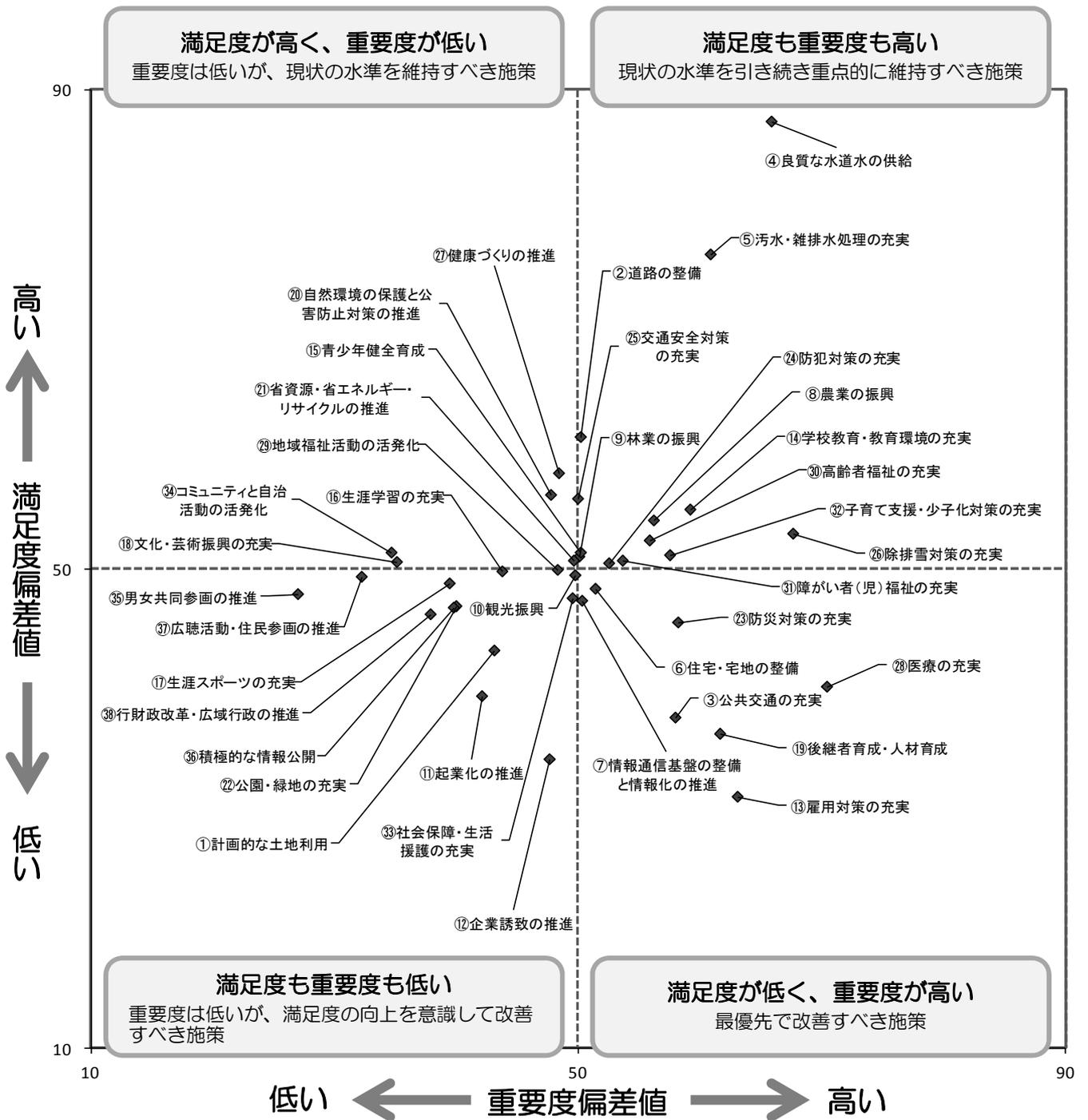
改善度は、プロットの原点（満足度偏差値 50 及び重要度偏差値 50 の位置）からの距離×修正指数で算出し、原点からの距離、修正指数は以下の計算式で算出します。

$$\text{距離} = \sqrt{(x - \bar{x})^2 + (y - \bar{y})^2} \quad \text{修正指数 } r = \frac{90 - \text{角度}}{90}$$

満足度偏差値と重要度偏差値

項目	満足度 偏差値	重要度 偏差値	改善度	改善の 優先順
①計画的な土地利用	43.08	43.15	0.00	18
②道路の整備	60.96	50.20	-0.67	30
③公共交通の充実	37.55	57.99	1.99	4
④良質な水道水の供給	87.32	65.92	-3.58	37
⑤汚水・雑排水処理の充実	76.24	60.94	-2.01	35
⑥住宅・宅地の整備	48.32	51.47	0.04	15
⑦情報通信基盤の整備と情報化の推進	47.26	50.34	0.06	14
⑧農業の振興	54.02	56.17	0.09	12
⑨林業の振興	50.94	50.09	-0.01	20
⑩観光振興	49.44	49.74	0.00	19
⑪起業化の推進	39.37	42.17	0.29	9
⑫企業誘致の推進	34.03	47.63	1.69	5
⑬雇用対策の充実	30.89	63.12	4.87	1
⑭学校教育・教育環境の充実	54.93	59.24	0.25	10
⑮青少年健全育成	51.36	50.20	-0.01	22
⑯生涯学習の充実	49.72	43.76	-0.25	25
⑰生涯スポーツの充実	48.74	39.48	-0.71	31
⑱文化・芸術振興の充実	50.49	35.18	-1.67	33
⑲後継者育成・人材育成	36.20	61.64	2.92	3
⑳自然環境の保護と公害防止対策の推進	56.12	47.74	-0.33	26
㉑省資源・省エネルギー・リサイクルの推進	50.68	49.63	-0.01	21
㉒公園・緑地の充実	46.78	40.00	-0.52	28
㉓防災対策の充実	45.50	58.19	0.72	7
㉔防犯対策の充実	50.44	52.60	0.04	16
㉕交通安全対策の充実	55.77	49.98	-0.20	24
㉖除排雪対策の充実	52.92	67.65	1.39	6
㉗健康づくりの推進	57.88	48.45	-0.45	27
㉘医療の充実	40.12	70.49	3.88	2
㉙地域福祉活動の活発化	49.89	48.33	-0.02	23
㉚高齢者福祉の充実	52.37	55.89	0.13	11
㉛障がい者（児）福祉の充実	50.68	53.71	0.07	13
㉜子育て支援・少子化対策の充実	51.07	57.55	0.29	8
㉝社会保障・生活援護の充実	47.52	49.62	0.03	17
㉞コミュニティと自治活動の活発化	51.36	34.71	-1.87	34
㉟男女共同参画の推進	47.86	27.08	-3.96	38
㊱積極的な情報公開	46.76	39.83	-0.54	29
㊲広聴活動・住民参画の推進	49.29	32.25	-2.33	36
㊳行財政改革・広域行政の推進	46.13	37.88	-0.79	32

《満足度偏差値と重要度偏差値の相関》



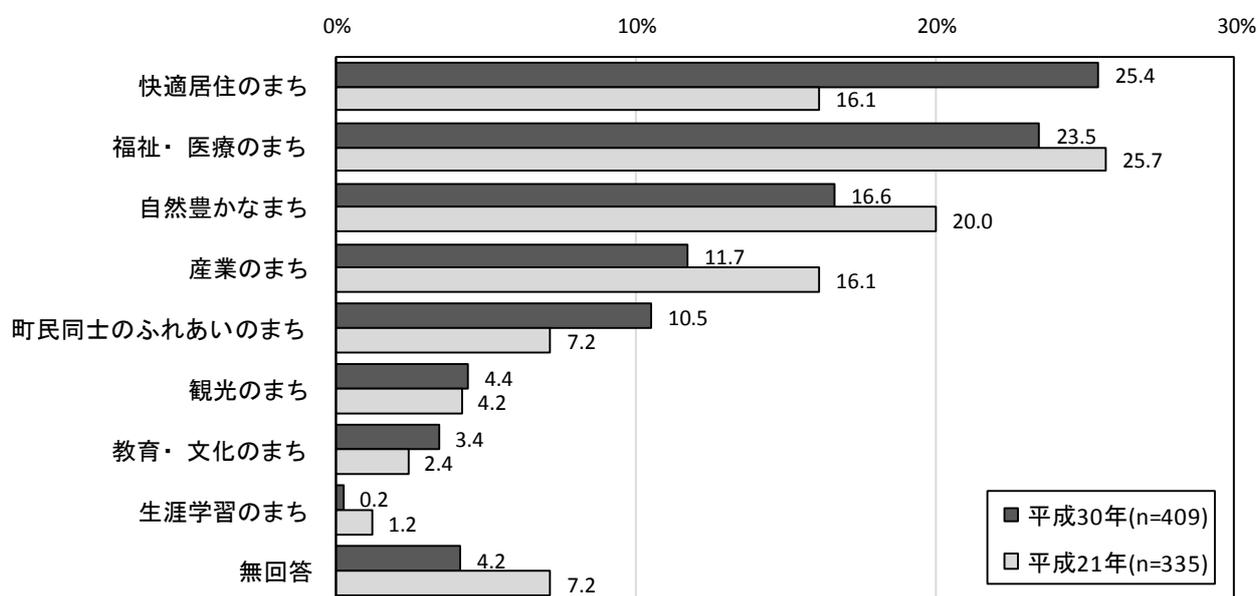
4. 今後のまちづくりについて

(1) 陸別町の将来像

陸別町の将来像については、「快適居住のまち」が25.4%で最も多く、次いで「福祉・医療のまち」(23.5%)、「自然豊かなまち」(16.6%)と続いています。

平成21年調査と比べると、「快適居住のまち」が9.3ポイント増加しています。一方、前回最も高かった「福祉・医療のまち」は微減となりました。

問5 将来の陸別町がどのようなまちになることをお望みですか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで、番号に○を付けてください。(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、男女ともに「快適居住のまち」が最も多くなっています。

○年齢階級別でみると、20歳代から50歳代までは「快適居住のまち」、60代と70歳以上では「福祉・医療のまち」、20歳未満では「自然豊かなまち」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

		n	快適居住のまち	福祉・医療のまち	自然豊かなまち	産業のまち	町民同士の ふれあいのまち
全体		409	25.4	23.5	16.6	11.7	10.5
性別	男性	157	26.8	20.4	14.6	15.3	8.3
	女性	185	25.9	24.9	18.9	8.6	10.8
年齢	20歳未満	14	14.3	0.0	35.7	7.1	7.1
	20歳代	31	45.2	3.2	16.1	6.5	0.0
	30歳代	38	44.7	7.9	21.1	5.3	2.6
	40歳代	53	34.0	15.1	20.8	11.3	7.5
	50歳代	69	34.8	20.3	10.1	11.6	11.6
	60歳代	77	19.5	29.9	11.7	18.2	14.3
	70歳以上	110	9.1	40.0	16.4	12.7	14.5

		n	観光のまち	教育・文化のまち	生涯学習のまち	無回答
全体		409	4.4	3.4	0.2	4.2
性別	男性	157	7.0	4.5	0.6	2.5
	女性	185	3.2	3.2	0.0	4.3
年齢	20歳未満	14	21.4	14.3	0.0	0.0
	20歳代	31	16.1	12.9	0.0	0.0
	30歳代	38	5.3	10.5	0.0	2.6
	40歳代	53	3.8	1.9	1.9	3.8
	50歳代	69	5.8	1.4	0.0	4.3
	60歳代	77	2.6	1.3	0.0	2.6
	70歳以上	110	0.0	0.9	0.0	6.4

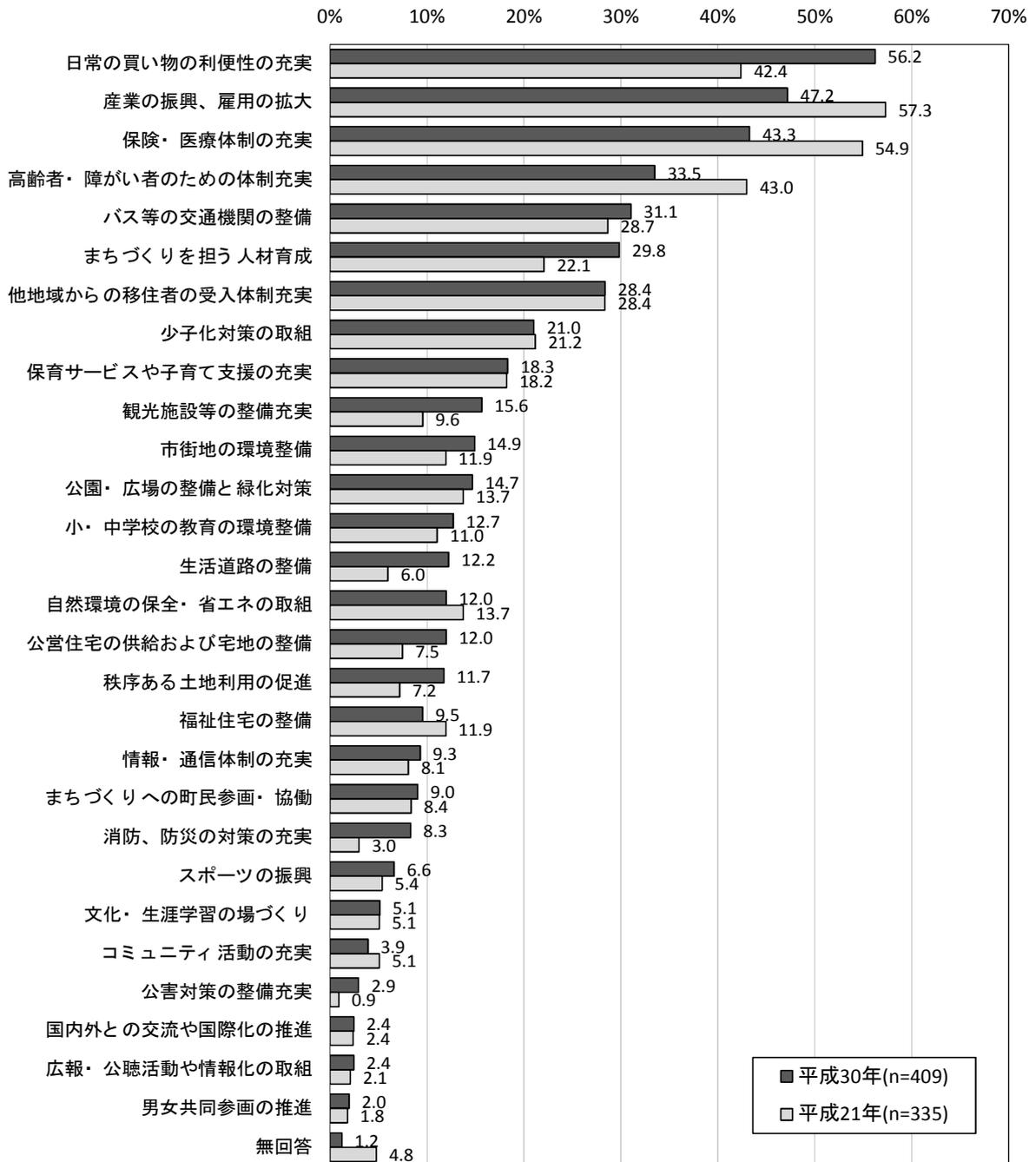
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 陸別町が力を入れるべき分野

陸別町が力を入れるべき分野は、「日常の買い物の利便性の充実」(56.2%)がで最も多く、次いで「産業の振興、雇用の拡大」(47.2%)、「保険・医療体制の充実」(43.3%)が続いています。

平成21年調査と比べると、「日常の買い物の利便性の充実」が13.8ポイント増加し、「産業の振興、雇用の拡大」「保険・医療体制の充実」「高齢者・障がい者のための体制充実」は10ポイント程度減少しています。

問8 今後、陸別町がどの分野に力を入れるべきと考えますか。(5つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、男性は「産業の振興、雇用の拡大」が、女性は「日常の買い物の利便性の充実」がそれぞれ最も多くなっています。

○年齢階級別でみると、60歳代を除くすべての年代で「日常の買い物の利便性の充実」が最も多くなっています。また、60歳代では「日常の買い物の利便性の充実」と「産業の振興、雇用の拡大」がともに5割以上と多くなっております。

○子育て世代である20歳代と30歳代では、「保育サービスや子育て支援の充実」が4割程度で、他の年代に比べて高くなっています。

		n	日常の買い物の利便性の充実	産業の振興、雇用の拡大	保険・医療体制の充実	高齢者・障がい者のための体制充実	バス等の交通機関の整備	まちづくりを担う人材育成
全体		409	56.2	47.2	43.3	33.5	31.1	29.8
性別	男性	157	47.8	58.0	36.3	26.8	28.0	24.8
	女性	185	67.0	40.0	47.6	37.8	34.6	31.9
年齢	20歳未満	14	64.3	42.9	21.4	21.4	42.9	21.4
	20歳代	31	67.7	32.3	25.8	9.7	16.1	22.6
	30歳代	38	52.6	34.2	50.0	15.8	21.1	15.8
	40歳代	53	58.5	47.2	34.0	26.4	24.5	18.9
	50歳代	69	56.5	53.6	43.5	33.3	36.2	30.4
	60歳代	77	54.5	57.1	39.0	41.6	31.2	33.8
	70歳以上	110	55.5	46.4	53.6	46.4	36.4	39.1

		n	他地域からの移住者の受入体制充実	少子化対策の取組	保育サービスや子育て支援の充実	観光施設等の整備充実	市街地の環境整備	公園・広場の整備と緑化対策
全体		409	28.4	21.0	18.3	15.6	14.9	14.7
性別	男性	157	30.6	16.6	15.9	19.1	17.2	14.6
	女性	185	24.3	23.8	21.6	13.0	11.4	15.7
年齢	20歳未満	14	14.3	21.4	14.3	35.7	28.6	21.4
	20歳代	31	32.3	25.8	41.9	22.6	12.9	22.6
	30歳代	38	34.2	23.7	39.5	26.3	13.2	26.3
	40歳代	53	20.8	22.6	24.5	17.0	15.1	13.2
	50歳代	69	30.4	8.7	11.6	18.8	8.7	14.5
	60歳代	77	24.7	20.8	10.4	13.0	15.6	10.4
	70歳以上	110	32.7	25.5	10.9	6.4	16.4	10.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

		n	小・中学校の 教育の 環境整備	生活道路の 整備	自然環境の 保全・ 省エネの取組	公営住宅の 供給および 宅地の整備	秩序ある土地 利用の促進	福祉住宅の 整備
全体		409	12.7	12.2	12.0	12.0	11.7	9.5
性別	男性	157	14.0	13.4	14.0	10.2	10.8	7.6
	女性	185	14.1	10.8	9.2	14.1	12.4	11.4
年齢	20歳未満	14	21.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代	31	22.6	12.9	6.5	38.7	3.2	3.2
	30歳代	38	18.4	18.4	13.2	21.1	15.8	5.3
	40歳代	53	22.6	7.5	13.2	13.2	17.0	9.4
	50歳代	69	10.1	10.1	14.5	10.1	14.5	13.0
	60歳代	77	11.7	13.0	10.4	7.8	13.0	11.7
	70歳以上	110	3.6	12.7	12.7	7.3	10.9	10.0

		n	情報・通信 体制の充実	まちづくりへの 町民参画 ・協働	消防、防災の 対策の充実	スポーツの 振興	文化・生涯学 習の場づくり	コミュニティ 活動の充実
全体		409	9.3	9.0	8.3	6.6	5.1	3.9
性別	男性	157	11.5	11.5	10.2	9.6	4.5	4.5
	女性	185	7.6	4.9	7.6	4.9	6.5	4.9
年齢	20歳未満	14	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1
	20歳代	31	6.5	6.5	6.5	19.4	6.5	6.5
	30歳代	38	5.3	0.0	7.9	10.5	5.3	5.3
	40歳代	53	9.4	11.3	9.4	9.4	5.7	5.7
	50歳代	69	13.0	7.2	8.7	10.1	2.9	2.9
	60歳代	77	9.1	9.1	10.4	1.3	7.8	3.9
	70歳以上	110	7.3	10.0	8.2	0.9	3.6	2.7

		n	公害対策の 整備充実	国内外との 交流や 国際化の推進	広報・公聴 活動や情報化 の取組	男女共同 参画の推進	無回答
全体		409	2.9	2.4	2.4	2.0	1.2
性別	男性	157	2.5	4.5	5.1	3.2	1.9
	女性	185	2.7	1.1	0.5	1.1	1.1
年齢	20歳未満	14	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1
	20歳代	31	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0
	30歳代	38	2.6	5.3	0.0	5.3	2.6
	40歳代	53	7.5	1.9	3.8	5.7	0.0
	50歳代	69	0.0	5.8	1.4	0.0	2.9
	60歳代	77	1.3	2.6	3.9	2.6	0.0
	70歳以上	110	2.7	0.0	3.6	0.0	0.9

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

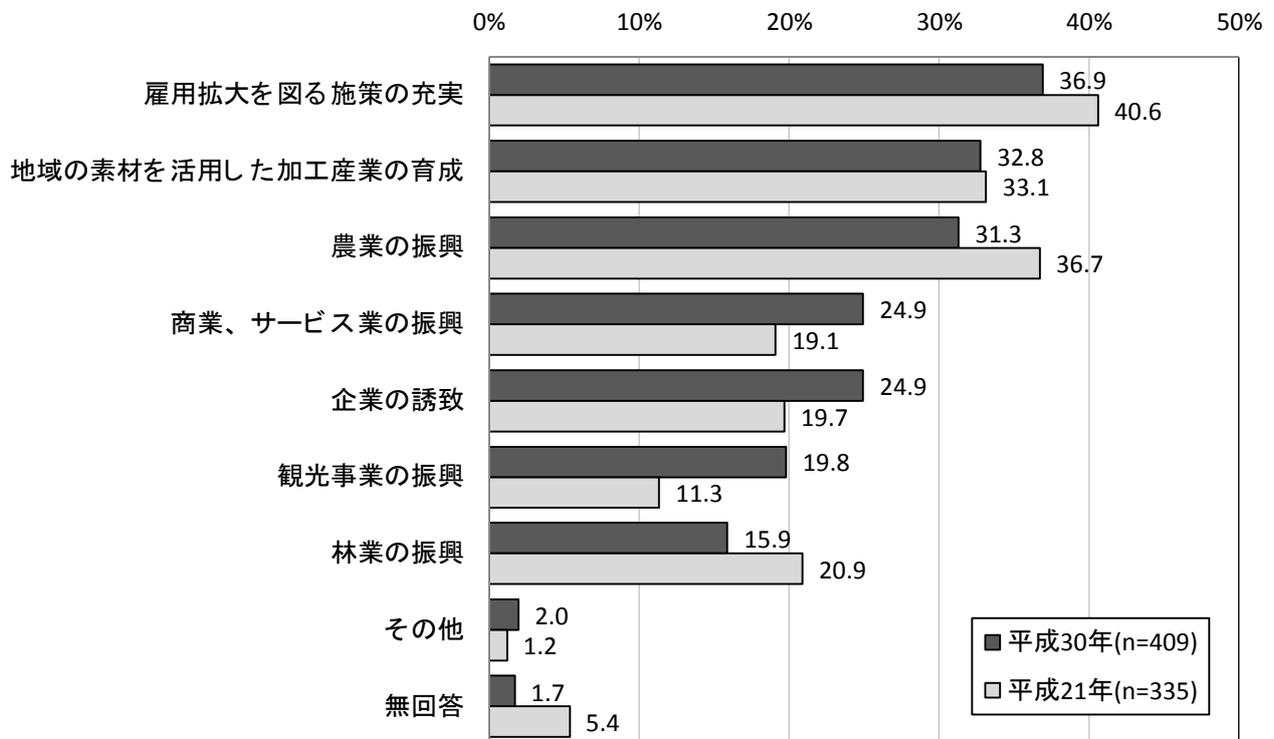
5. 産業振興について

(1) 産業振興で力を入れるべき分野

産業振興で力を入れるべき分野は、「雇用拡大を図る施策の充実」が36.9%で最も多く、次いで「地域の素材を活用した加工産業の育成」(32.8%)、「農業の振興」(31.3%)が続いています。

平成21年調査と比べると、「雇用拡大を図る施策の充実」「農業の振興」が減少し、「商業、サービス業の振興」「企業の誘致」「観光事業の振興」は増加しています。

問9 今後、陸別町の産業の振興について、どの分野に力を入れるべきと考えますか。(2つに○印)



【その他の内容】

- ・高齢者福祉産業の振興
- ・医療関係
- ・児童福祉
- ・エネルギーの地産地消
- ・移住促進
- ・企業努力ができる産業
- ・高齢者に向けた充実したサービスを提供できる仕事と人材育成

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、ともに「雇用拡大を図る施策の充実」、「地域の素材を活用した加工産業の育成」及び「農業の振興」が上位回答となっています。また、女性では「商業、サービス業の振興」も30%を超えています。

○年齢階級別でみると、20歳未満では「農業の振興」、30歳代では「商業、サービス業の振興」、他の年代では「雇用拡大を図る施策の充実」がそれぞれ最も多くなっています。

○40歳代未満は「観光事業の振興」が3割程度で、他の年代と比べて多くなっています。

(%)

		n	雇用拡大を図る 施策の充実	地域の素材を 活用した加工 産業の育成	農業の振興	商業、サービス業 の振興	企業の誘致
全体		409	36.9	32.8	31.3	24.9	24.9
性別	男性	157	40.1	31.8	31.2	17.2	29.3
	女性	185	35.1	38.4	30.3	30.8	20.5
年齢	20歳未満	14	21.4	28.6	42.9	7.1	35.7
	20歳代	31	35.5	25.8	19.4	29.0	25.8
	30歳代	38	28.9	23.7	21.1	34.2	28.9
	40歳代	53	39.6	24.5	32.1	24.5	26.4
	50歳代	69	42.0	37.7	27.5	23.2	23.2
	60歳代	77	41.6	39.0	32.5	27.3	28.6
	70歳以上	110	36.4	34.5	36.4	24.5	20.9

		n	観光事業の振興	林業の振興	その他	無回答
全体		409	19.8	15.9	2.0	1.7
性別	男性	157	18.5	16.6	1.9	1.3
	女性	185	20.5	14.6	2.7	1.1
年齢	20歳未満	14	28.6	21.4	7.1	0.0
	20歳代	31	32.3	12.9	3.2	0.0
	30歳代	38	36.8	7.9	5.3	0.0
	40歳代	53	20.8	18.9	3.8	0.0
	50歳代	69	23.2	8.7	1.4	2.9
	60歳代	77	11.7	10.4	1.3	0.0
	70歳以上	110	11.8	24.5	0.0	2.7

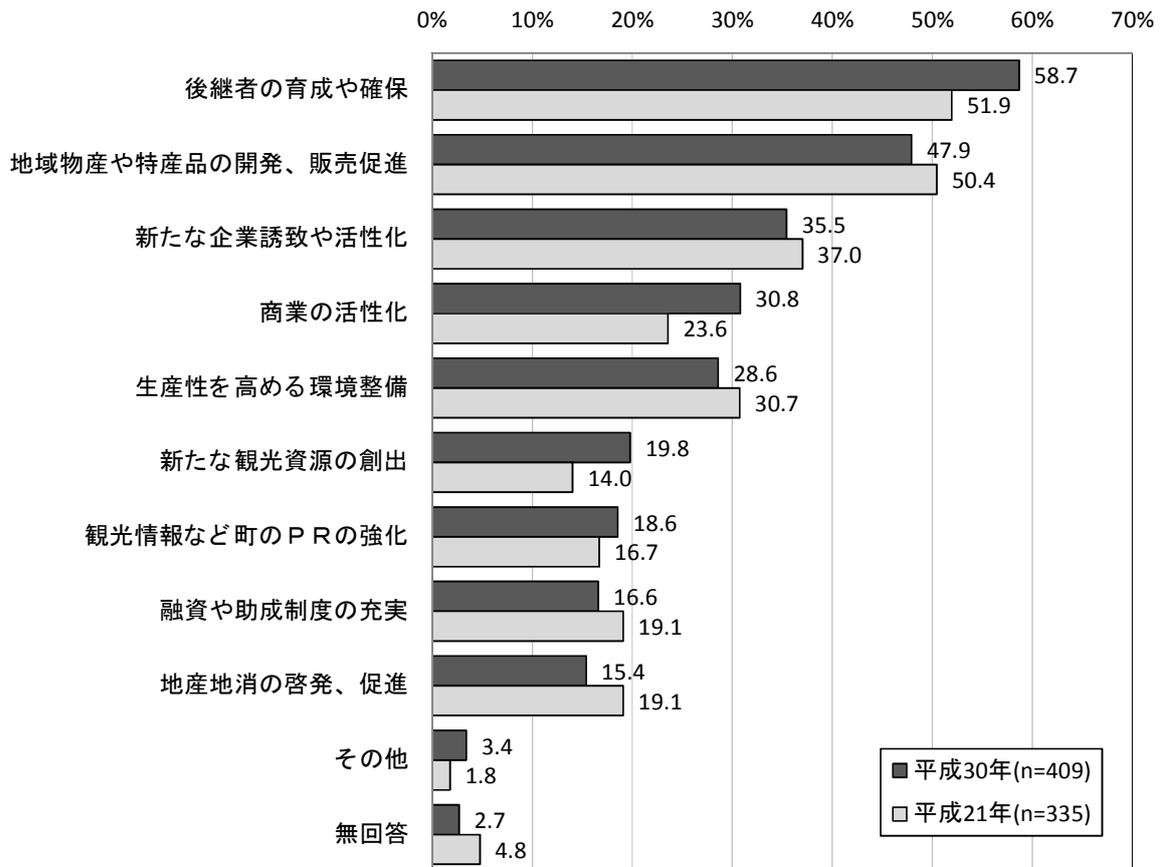
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 産業振興のために大切なこと

産業振興のために大切なことは、「後継者の育成や確保」が58.7%で最も多く、次いで「地域物産や特産品の開発、販売促進」(47.9%)、「新たな企業誘致や活性化」(35.5%)と続いています。

平成21年調査と比べても回答の傾向に大きな差異はありませんが、最上位回答の「後継者の育成や確保」はわずかに増加しています。

問10 産業振興のために、あなたは今後、何が大切だと考えますか。(3つに○印)



【その他の内容】

- ・高齢者をターゲットにした産業の開発や誘致。
- ・町に事務所(常駐1名以上等)を設置した企業への助成制度。
- ・保守的思考を捨て、新しい考えを受け入れること。固定概念を持たないこと。
- ・今現在の事業者の意識改革。殿様商売からの脱却。
- ・人作りしかない。
- ・バイオマスや太陽等発電により、町の電力は町で賄う。
- ・天文台の屋間の活用(巨大アスレチックやキャンプ場など)
- ・近隣市町村連携。
- ・寒地住宅をPRし、移住しても快適な暮らしができることの実証PR。
- ・財政をより良い状態にし、積立金のような安心できる状態作り。学術・産業の振興のため。
- ・町や人間関係に頼らないで企業努力をする文化づくりと支援。

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、ともに「後継者の育成や確保」と「地域物産や特産品の開発、販売促進」が上位回答となっています。

○年齢階級別でみると、70歳以上では「地域物産や特産品の開発、販売促進」が、他の年代では「後継者の育成や確保」が最も多くなっています。

(%)

		n	後継者の育成や確保	地域物産や特産品の開発、販売促進	新たな企業誘致や活性化	商業の活性化	生産性を高める環境整備	新たな観光資源の創出
全体		409	58.7	47.9	35.5	30.8	28.6	19.8
性別	男性	157	59.9	45.9	43.3	24.8	28.7	28.7
	女性	185	57.8	50.8	28.1	37.3	27.0	13.0
年齢	20歳未満	14	78.6	28.6	28.6	14.3	28.6	28.6
	20歳代	31	71.0	41.9	48.4	32.3	29.0	16.1
	30歳代	38	60.5	39.5	44.7	31.6	23.7	10.5
	40歳代	53	62.3	43.4	35.8	35.8	26.4	20.8
	50歳代	69	50.7	50.7	37.7	29.0	20.3	31.9
	60歳代	77	58.4	42.9	35.1	29.9	37.7	20.8
	70歳以上	110	53.6	58.2	28.2	35.5	30.0	12.7

		n	観光情報など町のPRの強化	融資や助成制度の充実	地産地消の啓発、促進	その他	無回答
全体		409	18.6	16.6	15.4	3.4	2.7
性別	男性	157	15.3	12.1	17.2	5.7	1.9
	女性	185	21.1	21.6	15.1	2.2	2.7
年齢	20歳未満	14	28.6	35.7	28.6	0.0	0.0
	20歳代	31	19.4	22.6	3.2	6.5	0.0
	30歳代	38	21.1	21.1	13.2	10.5	0.0
	40歳代	53	17.0	17.0	15.1	5.7	1.9
	50歳代	69	18.8	13.0	18.8	2.9	2.9
	60歳代	77	16.9	15.6	18.2	3.9	0.0
	70歳以上	110	17.3	14.5	14.5	0.0	6.4

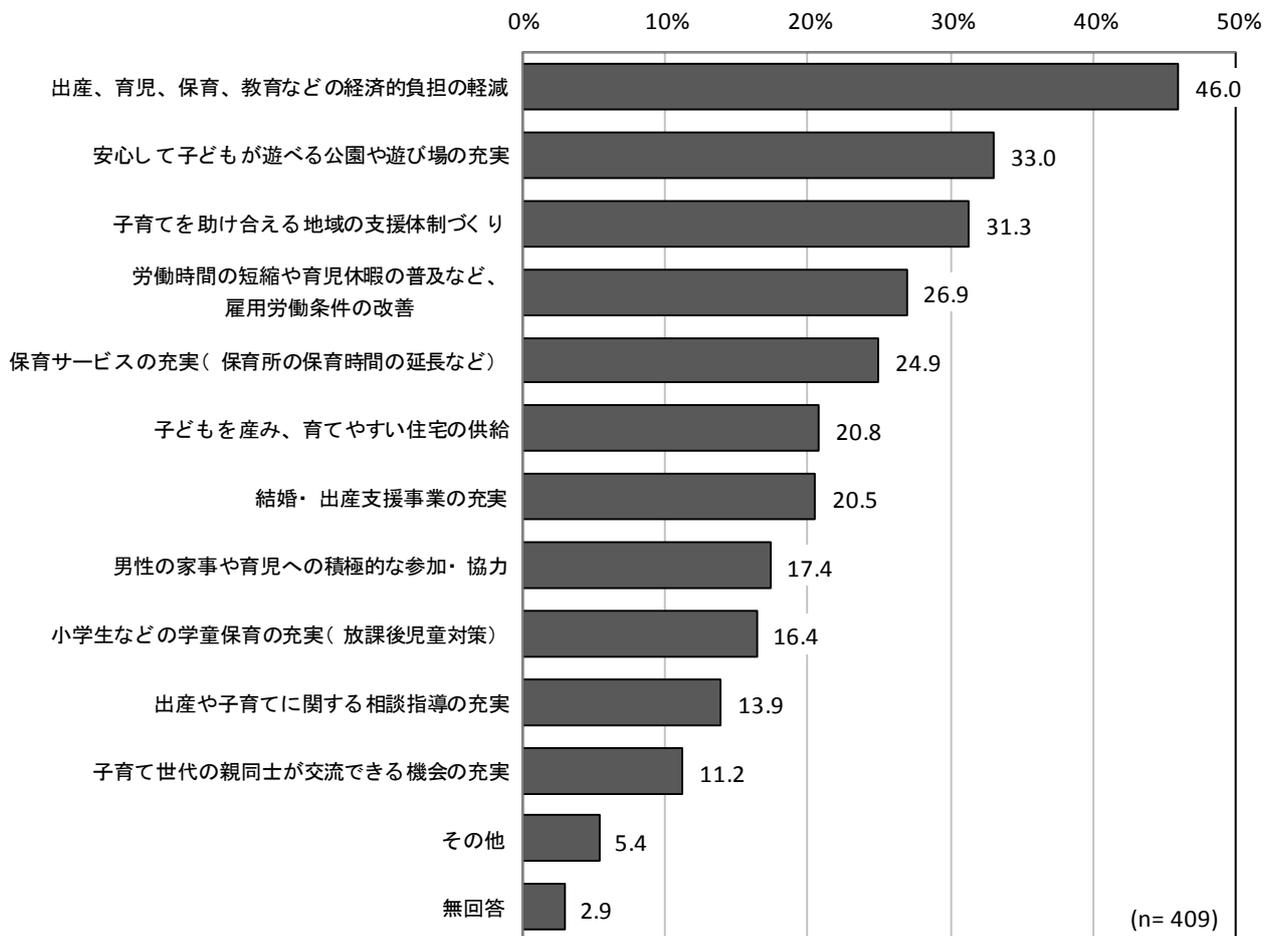
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

6. 少子化対策について

(1) 少子化対策として力を入れるべき分野

少子化対策として力を入れるべき分野については、「出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減」が46.0%で最も多く、次いで「安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実」(33.0%)、「子育てを助け合える地域の支援体制づくり」(31.3%)と続いています。

問 11 少子化対策として、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えですか。(3つまで〇印)



【その他の内容】

- ・ 1歳保育
- ・ 子育て世代の移住者を増やす努力
- ・ 雇用体制の充実。安心して家庭を持ち、子育てできるよう。
- ・ 20代の大人が少ないことが問題。(雇用)産業の充実が少子化対策となる。
- ・ 保育園、学校で使用するものをすぐに準備できる、朝～夜まで空いている店!! 苦労したから
- ・ 町内就職先の増加、そのための助成、企業誘致
- ・ 子どもを産みたくなるような教育を

男女別・年齢階級別の集計

- 男女別でみると、ともに「出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減」が最も多くなっています。
- 年齢階級別でみると、50歳代では「労働時間の短縮や育児休暇の普及など、雇用労働条件の改善」が、他の年代では「出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

		n	出産、育児、保育、 教育などの経済的 負担の軽減	安心して子どもが 遊べる公園や 遊び場の充実	子育てを助け合える 地域の支援体制 づくり	労働時間の短縮や 育児休暇の普及など、 雇用労働条件の改善	保育サービスの充 実(保育所の保育 時間の延長など)
全体		409	46.0	33.0	31.3	26.9	24.9
性別	男性	157	52.9	28.0	31.2	28.7	29.9
	女性	185	41.1	37.3	34.6	27.0	22.7
年齢	20歳未満	14	64.3	28.6	21.4	35.7	14.3
	20歳代	31	45.2	35.5	25.8	32.3	32.3
	30歳代	38	55.3	39.5	28.9	21.1	36.8
	40歳代	53	43.4	30.2	20.8	20.8	34.0
	50歳代	69	33.3	29.0	31.9	36.2	27.5
	60歳代	77	50.6	29.9	36.4	27.3	19.5
	70歳以上	110	47.3	36.4	36.4	23.6	16.4

		n	子どもを産み、 育てやすい 住宅の供給	結婚・出産支援 事業の充実	男性の家事や 育児への積極的な 参加・協力	小学生などの学童 保育の充実 (放課後児童対策)	出産や子育てに 関する相談指導 の充実
全体		409	20.8	20.5	17.4	16.4	13.9
性別	男性	157	21.0	22.9	10.8	16.6	8.9
	女性	185	22.7	20.0	22.2	17.3	14.6
年齢	20歳未満	14	35.7	21.4	28.6	7.1	14.3
	20歳代	31	22.6	22.6	12.9	25.8	9.7
	30歳代	38	34.2	13.2	21.1	21.1	5.3
	40歳代	53	22.6	24.5	24.5	22.6	17.0
	50歳代	69	21.7	20.3	10.1	17.4	15.9
	60歳代	77	14.3	27.3	15.6	10.4	18.2
	70歳以上	110	18.2	18.2	17.3	13.6	12.7

		n	子育て世代の 親同士が交流 できる機会の充実	その他	無回答
全体		409	11.2	5.4	2.9
性別	男性	157	12.1	5.7	1.9
	女性	185	8.6	4.9	2.7
年齢	20歳未満	14	21.4	0.0	0.0
	20歳代	31	6.5	9.7	0.0
	30歳代	38	5.3	10.5	0.0
	40歳代	53	7.5	5.7	0.0
	50歳代	69	7.2	4.3	1.4
	60歳代	77	10.4	5.2	2.6
	70歳以上	110	19.1	2.7	7.3

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

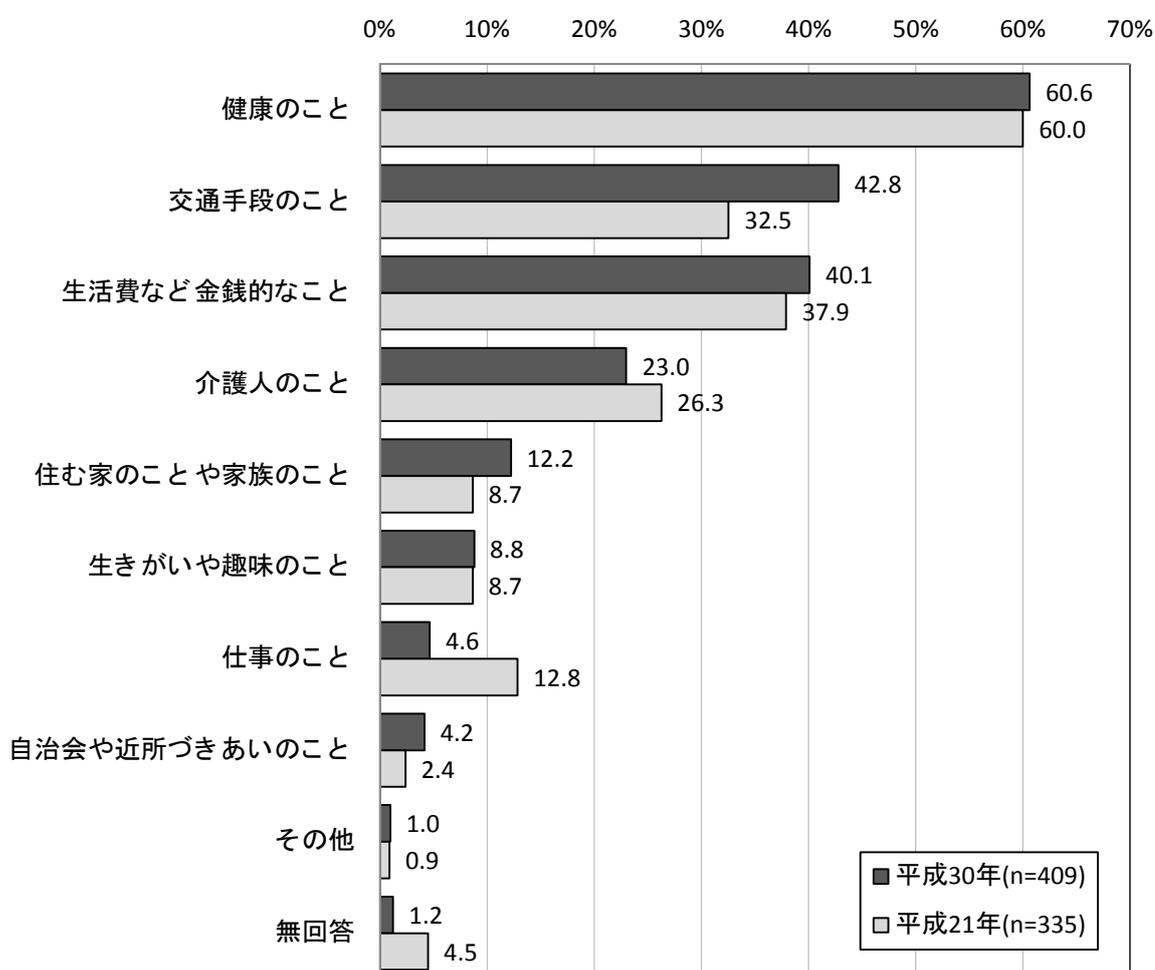
7. 高齢者福祉について

(1) 老後を考えたとき不安に思うこと

老後を考えたとき不安に思うことは、「健康のこと」が60.6%で最も多く、次いで「交通手段のこと」(42.8%)、「生活費など金銭的なこと」(42.8%)が続いています。

平成21年調査と比べると、「交通手段のこと」が10.3ポイント増加しています。

問12 あなたは、老後を考えたとき、どのようなことを不安に思いますか。(2つに○印)



【その他内容】

・医療 ・除雪

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でも、ともに「健康のこと」、「交通手段のこと」及び「生活費など金銭的なこと」が上位回答となっており、男女間に大きな差異はみられません。

○年齢階級別で見ると、「健康のこと」は年齢が上がるにつれておおむね増加しており、逆に「生活費など金銭的なこと」は、年齢が上がるにつれておおむね減少しています。

(%)

		n	健康のこと	交通手段のこと	生活費など金銭的なこと	介護人のこと	住む家のことや家族のこと
全体		409	60.6	42.8	40.1	23.0	12.2
性別	男性	157	59.2	42.0	40.8	17.8	9.6
	女性	185	61.6	43.8	37.8	24.3	15.1
年齢	20歳未満	14	21.4	35.7	64.3	21.4	28.6
	20歳代	31	29.0	12.9	67.7	12.9	12.9
	30歳代	38	60.5	55.3	44.7	10.5	13.2
	40歳代	53	62.3	47.2	41.5	17.0	13.2
	50歳代	69	53.6	37.7	55.1	17.4	24.6
	60歳代	77	70.1	44.2	32.5	26.0	6.5
	70歳以上	110	71.8	47.3	23.6	34.5	5.5

		n	生きがいや趣味のこと	仕事のこと	自治会や近所づきあいのこと	その他	無回答
全体		409	8.8	4.6	4.2	1.0	1.2
性別	男性	157	12.1	7.6	3.2	0.6	1.9
	女性	185	6.5	3.2	4.9	1.6	1.1
年齢	20歳未満	14	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0
	20歳代	31	19.4	16.1	12.9	6.5	0.0
	30歳代	38	5.3	10.5	0.0	2.6	0.0
	40歳代	53	5.7	3.8	3.8	0.0	1.9
	50歳代	69	5.8	7.2	1.4	0.0	0.0
	60歳代	77	13.0	1.3	0.0	0.0	2.6
	70歳以上	110	5.5	0.0	6.4	0.9	1.8

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

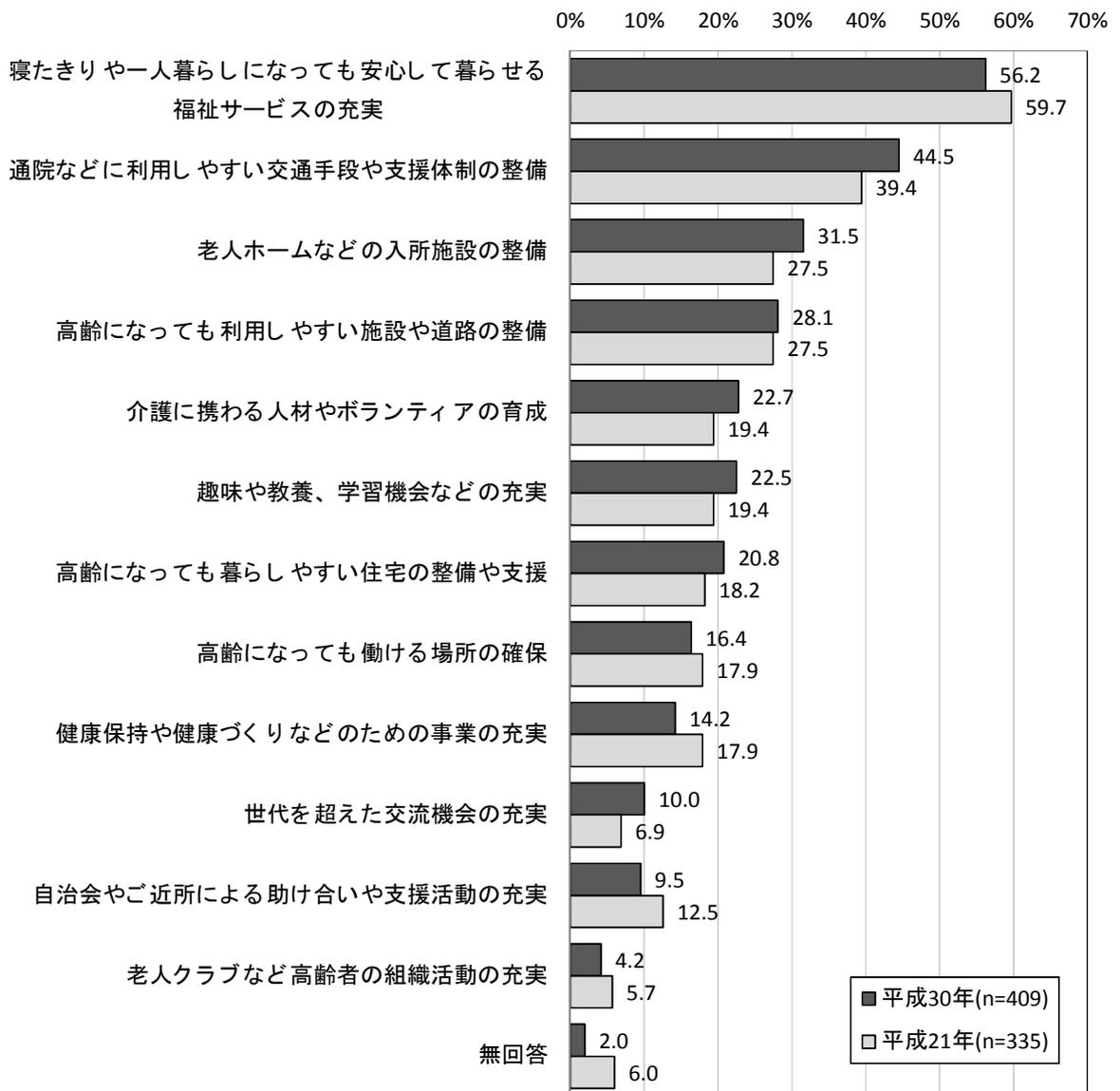
(2) 充実した老後を送るために大切なこと

充実した老後を送るために大切なことは、「寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実」(56.2%)が最も多く6割程度を占め、次いで「通院などに利用しやすい交通手段や支援体制の整備」(44.5%)、「老人ホームなどの入所施設の整備」(31.5%)が続いています。

平成21年調査と比べても回答の傾向に大きな差異はありませんが、上位回答の中では「寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実」がわずかに減少し、「通院などに利用しやすい交通手段や支援体制の整備」「老人ホームなどの入所施設の整備」が減少しています。

問13 健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、今後、何が大切だと思いますか。

(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、ともに「寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実」と「通院などに利用しやすい交通手段や支援体制の整備」が上位回答となっています。

○年齢階級別でみると、「寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実」は若い年代では割合が低く、年齢が上がるにつれて増加する傾向にあります。

(%)

		n	寝たきりや一人暮らしになっても安心して暮らせる福祉サービスの充実	通院などに利用しやすい交通手段や支援体制の整備	老人ホームなどの入所施設の整備	高齢になっても利用しやすい施設や道路の整備	介護に携わる人材やボランティアの育成
全体		409	56.2	44.5	31.5	28.1	22.7
性別	男性	157	45.9	39.5	29.3	25.5	22.9
	女性	185	64.9	50.8	33.0	29.7	22.2
年齢	20歳未満	14	35.7	35.7	21.4	50.0	14.3
	20歳代	31	35.5	32.3	25.8	32.3	22.6
	30歳代	38	42.1	63.2	28.9	34.2	21.1
	40歳代	53	56.6	41.5	30.2	17.0	20.8
	50歳代	69	52.2	50.7	34.8	18.8	20.3
	60歳代	77	54.5	41.6	36.4	36.4	26.0
	70歳以上	110	73.6	44.5	31.8	27.3	22.7

		n	趣味や教養、学習機会などの充実	高齢になっても暮らしやすい住宅の整備や支援	高齢になっても働ける場所の確保	健康保持や健康づくりなどのための事業の充実	世代を超えた交流機会の充実
全体		409	22.5	20.8	16.4	14.2	10.0
性別	男性	157	27.4	21.0	22.3	18.5	13.4
	女性	185	19.5	18.4	10.8	11.9	5.9
年齢	20歳未満	14	21.4	28.6	28.6	14.3	28.6
	20歳代	31	54.8	16.1	22.6	3.2	9.7
	30歳代	38	18.4	26.3	15.8	18.4	7.9
	40歳代	53	30.2	18.9	24.5	15.1	13.2
	50歳代	69	21.7	23.2	23.2	14.5	7.2
	60歳代	77	20.8	14.3	11.7	11.7	11.7
	70歳以上	110	10.0	22.7	8.2	17.3	8.2

		n	自治会やご近所による助け合いや支援活動の充実	老人クラブなど高齢者の組織活動の充実	無回答
全体		409	9.5	4.2	2.0
性別	男性	157	8.3	4.5	1.9
	女性	185	10.3	4.3	2.7
年齢	20歳未満	14	7.1	7.1	0.0
	20歳代	31	9.7	9.7	0.0
	30歳代	38	2.6	5.3	0.0
	40歳代	53	17.0	0.0	1.9
	50歳代	69	5.8	0.0	2.9
	60歳代	77	6.5	3.9	2.6
	70歳以上	110	10.9	7.3	2.7

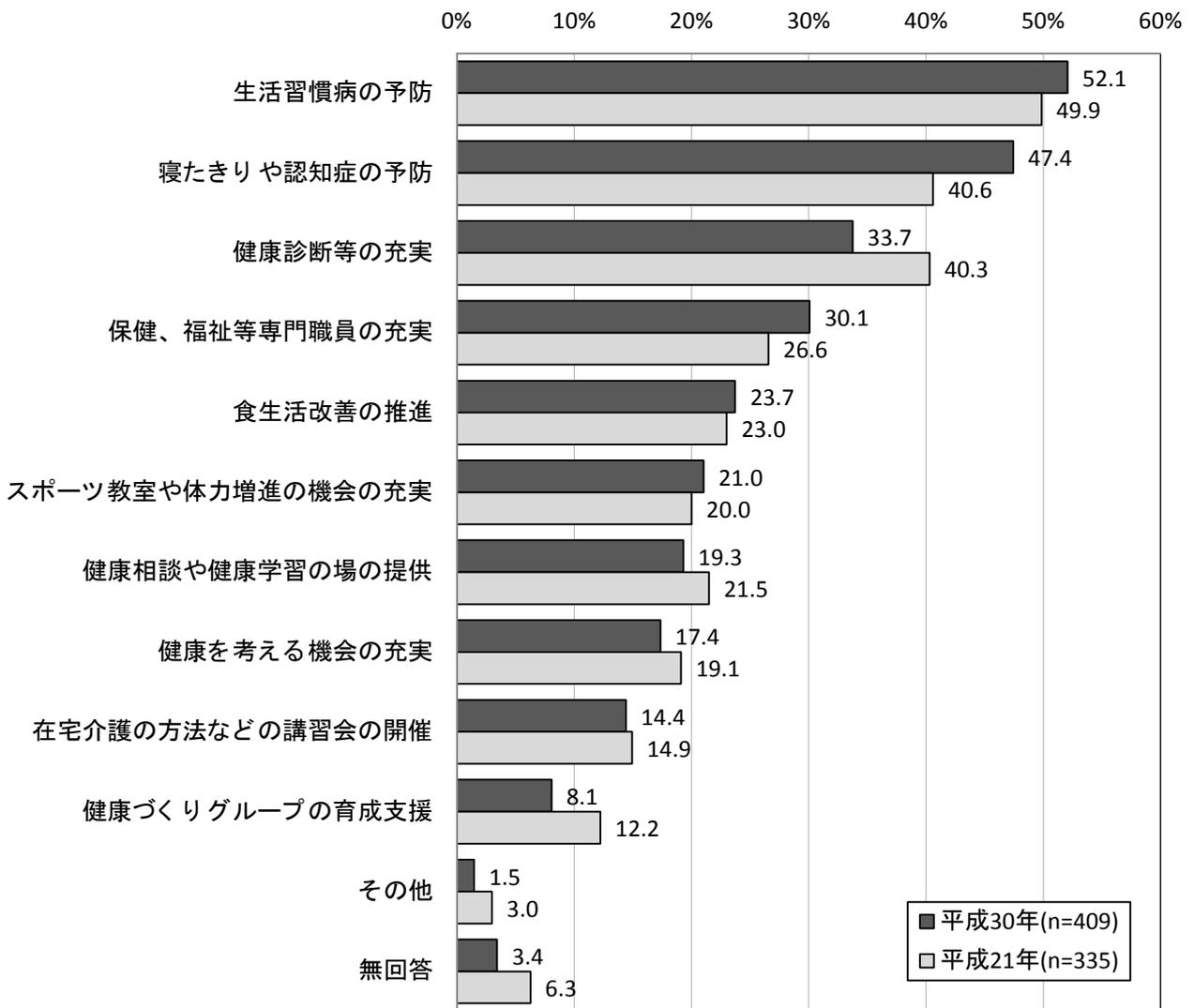
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 町民が健康な生活を送るために大切なこと

町民が健康な生活を送るために大切なことは、「生活習慣病の予防」と「寝たきりや認知症の予防」がともに5割程度と高くなっています。また、上位4項目の割合は3割以上となっています。

平成21年調査と比べても回答の傾向に大きな差異はありませんが、上位回答の中では「生活習慣病の予防」「寝たきりや認知症の予防」が増加し、「健康診断等の充実」は減少しています。

問14 町民が健康な生活を送るためには、今後、何が大切だと思いますか。（3つまで○印）



【その他の内容】

- ・付き合いの充実
- ・ひとりひとりの自覚
- ・人間ドック受診の財政的支援
- ・高齢化が進み、老々介護、一人暮らしを送っている人々への援助ができる人材の育成、充実

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、ともに「生活習慣病の予防」が最も多くなっています。また、「在宅介護の方法など講習会の開催」は、女性が17.8%なのに対し男性は8.3%で、半分以下の割合となっています。

○年齢階級別でみると、各年代とも「生活習慣病の予防」の割合は非常に高くなっています。また、70歳以上では「寝たきりや認知症の予防」が61.8%で、他の年代と比べて最も多くなっています。

		n	生活習慣病の予防	寝たきりや認知症の予防	健康診断等の充実	保健、福祉等専門職員の充実	食生活改善の推進	スポーツ教室や体力増進の機会の充実
全体		409	52.1	47.4	33.7	30.1	23.7	21.0
性別	男性	157	54.8	40.1	37.6	30.6	21.7	26.1
	女性	185	51.9	49.7	33.5	30.3	23.8	18.9
年齢	20歳未満	14	64.3	28.6	28.6	50.0	7.1	64.3
	20歳代	31	41.9	32.3	48.4	16.1	29.0	35.5
	30歳代	38	52.6	34.2	39.5	36.8	26.3	26.3
	40歳代	53	47.2	45.3	34.0	26.4	17.0	28.3
	50歳代	69	47.8	46.4	31.9	29.0	17.4	23.2
	60歳代	77	58.4	42.9	32.5	32.5	20.8	13.0
	70歳以上	110	54.5	61.8	30.9	30.0	31.8	11.8

		n	健康相談や健康学習の場の提供	健康を考える機会の充実	在宅介護の方法などの講習会の開催	健康づくりグループの育成支援	その他	無回答
全体		409	19.3	17.4	14.4	8.1	1.5	3.4
性別	男性	157	17.2	18.5	8.3	10.8	1.3	3.8
	女性	185	21.6	15.7	17.8	7.0	1.6	3.8
年齢	20歳未満	14	21.4	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0
	20歳代	31	29.0	12.9	6.5	12.9	3.2	3.2
	30歳代	38	10.5	13.2	5.3	10.5	2.6	2.6
	40歳代	53	22.6	17.0	13.2	5.7	3.8	3.8
	50歳代	69	20.3	21.7	10.1	7.2	1.4	5.8
	60歳代	77	16.9	24.7	18.2	13.0	0.0	2.6
	70歳以上	110	20.0	13.6	17.3	4.5	0.9	3.6

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

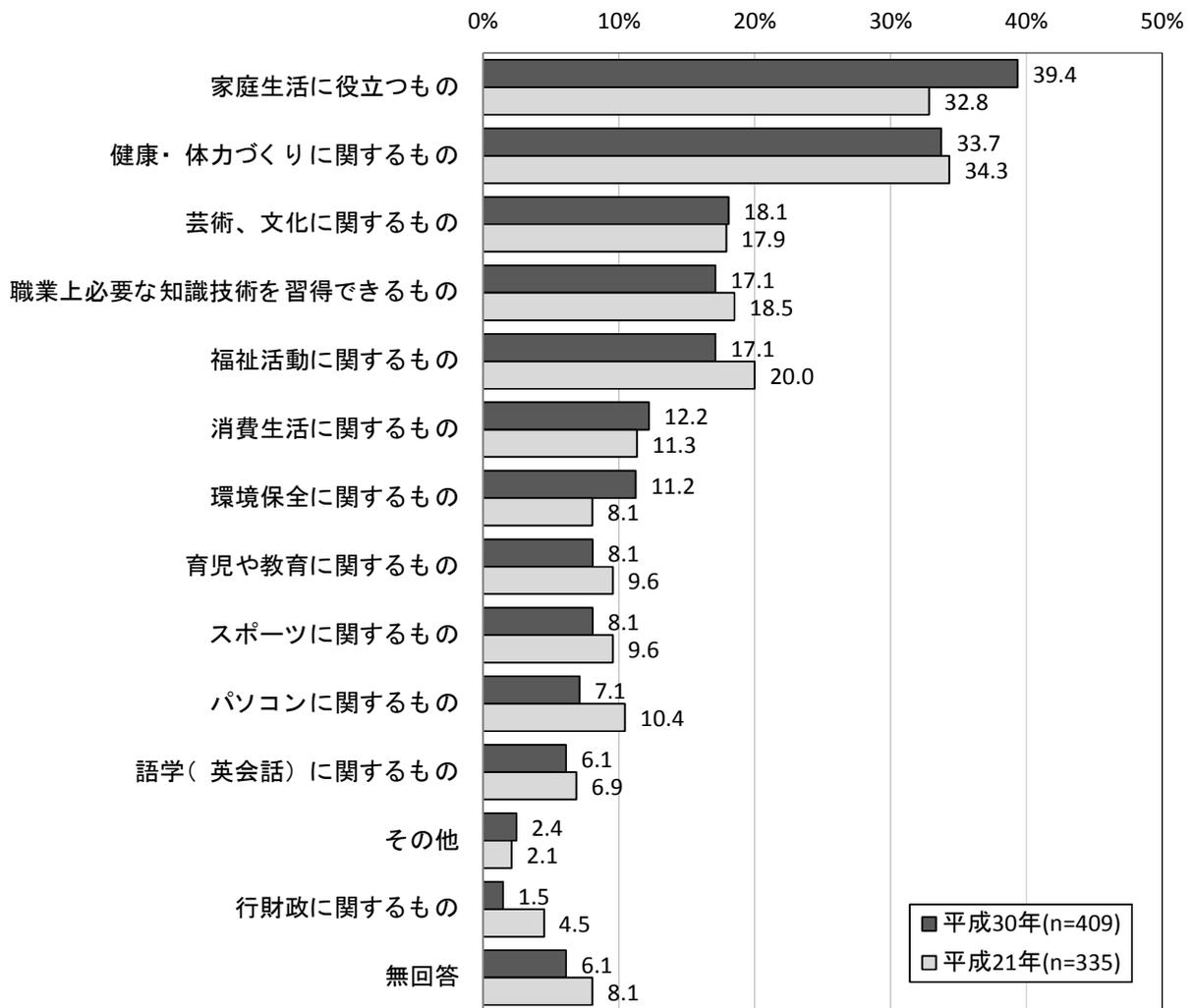
8. 生涯学習について

(1) 参加したい生涯学習活動

参加したいか生涯学習の内容は、「家庭生活に役立つもの」(39.4%)、「健康・体力づくりに関するもの」(33.7%)が上位回答で、他の回答を引き離して多くなっています。

平成21年調査でも「家庭生活に役立つもの」「健康・体力づくりに関するもの」は他の回答よりも多くなっていますが、「家庭生活に役立つもの」は6.6ポイント増加しています。

問15 あなたは今後、どのような内容の生涯学習に参加したいと思いますか。(2つまで○印)



【その他の内容】

- 武道
- 編み物
- 文化財に関するもの
- スマホ講習

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、女性は「家庭生活に役立つもの」（48.1%）が最も多く、5割程度を占めています。一方、男性は「健康・体力づくりに関するもの」が30.6%で最も多いものの、他の項目も比較的高い割合となっており、回答が分散傾向にあります。

○年齢階級別でみると、「家庭生活に役立つもの」と「健康・体力づくりに関するもの」は、40歳代以上の年代では上位回答となっていますが、20歳未満と20歳代ではその割合は低くなっています。

(%)

		n	家庭生活に役立つもの	健康・体力づくりに関するもの	芸術、文化に関するもの	職業上必要な知識技術を習得できるもの	福祉活動に関するもの
全体		409	39.4	33.7	18.1	17.1	17.1
性別	男性	157	27.4	30.6	17.2	22.9	14.0
	女性	185	48.1	38.4	20.5	15.7	15.7
年齢	20歳未満	14	21.4	7.1	42.9	28.6	14.3
	20歳代	31	16.1	19.4	22.6	45.2	3.2
	30歳代	38	39.5	23.7	18.4	34.2	10.5
	40歳代	53	26.4	32.1	15.1	26.4	13.2
	50歳代	69	42.0	30.4	26.1	17.4	11.6
	60歳代	77	37.7	41.6	15.6	9.1	23.4
	70歳以上	110	54.5	43.6	8.2	2.7	22.7

		n	消費生活に関するもの	環境保全に関するもの	育児や教育に関するもの	スポーツに関するもの	パソコンに関するもの
全体		409	12.2	11.2	8.1	8.1	7.1
性別	男性	157	11.5	16.6	7.6	14.0	8.9
	女性	185	13.5	6.5	8.6	2.2	5.9
年齢	20歳未満	14	7.1	14.3	28.6	14.3	0.0
	20歳代	31	6.5	3.2	29.0	9.7	16.1
	30歳代	38	10.5	0.0	21.1	5.3	2.6
	40歳代	53	11.3	7.5	9.4	20.8	9.4
	50歳代	69	15.9	10.1	4.3	7.2	11.6
	60歳代	77	14.3	16.9	1.3	6.5	5.2
	70歳以上	110	13.6	12.7	0.9	1.8	5.5

		n	語学(英会話)に関するもの	その他	行財政に関するもの	無回答
全体		409	6.1	2.4	1.5	6.1
性別	男性	157	8.3	1.9	2.5	6.4
	女性	185	4.3	3.2	0.5	4.3
年齢	20歳未満	14	7.1	7.1	0.0	0.0
	20歳代	31	16.1	3.2	0.0	3.2
	30歳代	38	13.2	0.0	2.6	5.3
	40歳代	53	17.0	1.9	3.8	1.9
	50歳代	69	2.9	0.0	0.0	5.8
	60歳代	77	2.6	2.6	0.0	10.4
	70歳以上	110	0.0	4.5	2.7	8.2

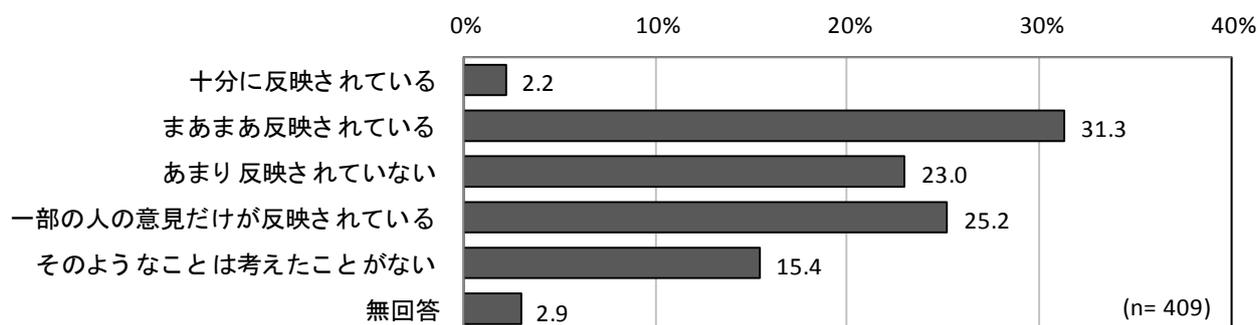
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

9. まちづくりへの住民参画について

(1) まちづくりへの町民意向の反映

町民の意向がまちづくりに「十分に反映されている」と感じている人は 2.2%で、「まあまあ反映されている」(31.3%)と合計すると 33.5%となっています。一方、「あまり反映されていない」は 23.0%で町民意向が反映されていると感じている人をわずかに上回っています。

問 16 あなたは、町民の意向がまちづくりに反映されていると感じていますか。(1つに○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別に「十分に反映されている」と「まあまあ反映されている」の合計をみると、どちらも30%程度となっています。

○年齢階級別に「十分に反映されている」と「まあまあ反映されている」の合計をみると、70歳以上では44.5%で最も多く、50歳代では21.7%で最も少なくなっています。

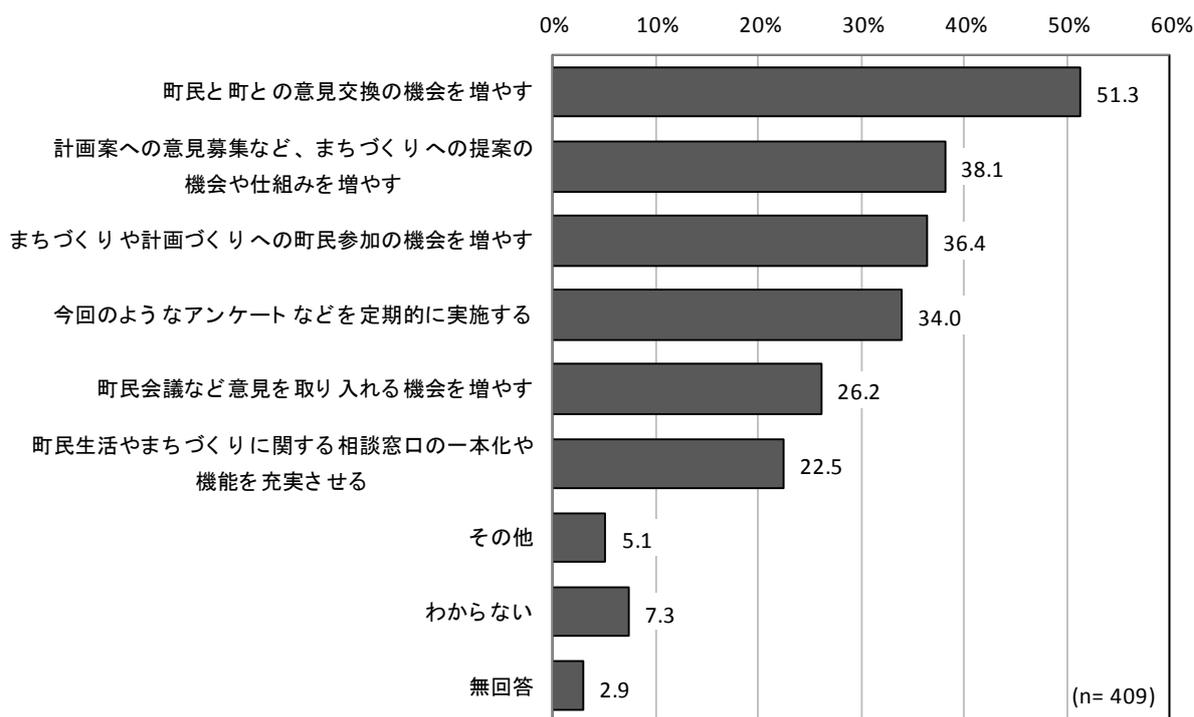
		n	十分に反映されている	まあまあ反映されている	あまり反映されていない	一部の人の意見だけが反映されている	そのようなことは考えたことがない	無回答
全体		409	2.2	31.3	23.0	25.2	15.4	2.9
性別	男性	157	0.6	31.8	23.6	24.2	16.6	3.2
	女性	185	3.8	31.9	25.4	20.0	15.7	3.2
年齢	20歳未満	14	0.0	28.6	35.7	21.4	14.3	0.0
	20歳代	31	6.5	19.4	16.1	19.4	38.7	0.0
	30歳代	38	5.3	26.3	36.8	18.4	13.2	0.0
	40歳代	53	3.8	28.3	26.4	32.1	9.4	0.0
	50歳代	69	0.0	21.7	30.4	24.6	20.3	2.9
	60歳代	77	0.0	36.4	18.2	28.6	10.4	6.5
	70歳以上	110	2.7	41.8	16.4	22.7	11.8	4.5

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 町民の声を陸別町のまちづくりに活かすために大切なこと

町民の声を陸別町のまちづくりに活かすために大切なことは、「町民と町との意見交換の機会を増やす」(51.3%)が最も多く5割以上を占めています。次いで、「計画案への意見募集など、まちづくりへの提案の機会や仕組みを増やす」(38.1%)、「まちづくりや計画づくりへの町民参加の機会を増やす」(36.4%)が続いています。

問 17 あなたは、町民の声を陸別町のまちづくりに活かしていくためにはどのようなことが大切だと思いますか。(3つまで○印)



【その他の内容】

- ・めやす箱の充実
- ・自治会をもっと有効活用する（町民参加につながる）。
- ・①有力者からの町民の意見の吸い上げ ②また、そういった人物の行政への参画 ③労働組合の立ち上げ
- ・片寄った考えにならないように、上に立つ人間を定期的に変える。
- ・その職域のプロ意識。どんなに意見を言っても聞いてくれる耳がなければ何も変わらない。
- ・各種委員会等のメンバーを同じ人が重複して引き受けないようにする。多様な意見を反映させるためには必須条件。
- ・〇〇会などの名称だと自治会長等役員が参加するし、それが町民の生の声とは思わない。ぶらっとのような場所で飲み物を飲みながら雑談してもらい、その中から職員が声を拾うような向いていく活動もあったらいいと思う。
- ・町政懇談会の実施。意見交換を通じて町政に対する関心と町職員との信頼関係が醸成されることは必然なり。
- ・町民それぞれが考え、行動に起こせる対策、サポート。
- ・町にいつでも要望ができるように各家庭に用紙を（はがき等）配布。町議の活躍。

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、ともに「町民と町との意見交換の機会を増やす」が最も多く、大きな差異はみられません。

○年齢階級別でみると、20歳未満では「計画案への意見募集など、まちづくりへの提案の機会や仕組みを増やす」が、20歳代で「今回のようなアンケートなどを定期的実施する」がそれぞれ最も多く、6割以上を占めています。また、他の年代では「町民と町との意見交換の機会を増やす」が最も多くなっています。

(%)

		n	町民と町との意見交換の機会を増やす	計画案への意見募集など、まちづくりへの提案の機会や仕組みを増やす	まちづくりや計画づくりへの町民参加の機会を増やす	今回のようなアンケートなどを定期的実施する	町民会議など意見を取り入れる機会を増やす
全体		409	51.3	38.1	36.4	34.0	26.2
性別	男性	157	49.7	38.2	33.8	40.8	29.3
	女性	185	50.8	38.9	37.8	30.3	24.9
年齢	20歳未満	14	57.1	64.3	21.4	21.4	42.9
	20歳代	31	29.0	38.7	29.0	61.3	22.6
	30歳代	38	36.8	36.8	28.9	36.8	21.1
	40歳代	53	66.0	32.1	34.0	41.5	34.0
	50歳代	69	53.6	47.8	34.8	30.4	18.8
	60歳代	77	55.8	41.6	40.3	31.2	26.0
	70歳以上	110	52.7	25.5	40.9	27.3	29.1

		n	町民生活やまちづくりに関する相談窓口の一本化や機能を充実させる	その他	わからない	無回答
全体		409	22.5	5.1	7.3	2.9
性別	男性	157	21.0	5.7	5.1	3.8
	女性	185	24.3	4.9	7.6	1.6
年齢	20歳未満	14	42.9	14.3	0.0	0.0
	20歳代	31	25.8	6.5	12.9	0.0
	30歳代	38	15.8	7.9	10.5	2.6
	40歳代	53	13.2	5.7	1.9	0.0
	50歳代	69	30.4	8.7	4.3	1.4
	60歳代	77	26.0	2.6	2.6	5.2
	70歳以上	110	20.9	1.8	11.8	5.5

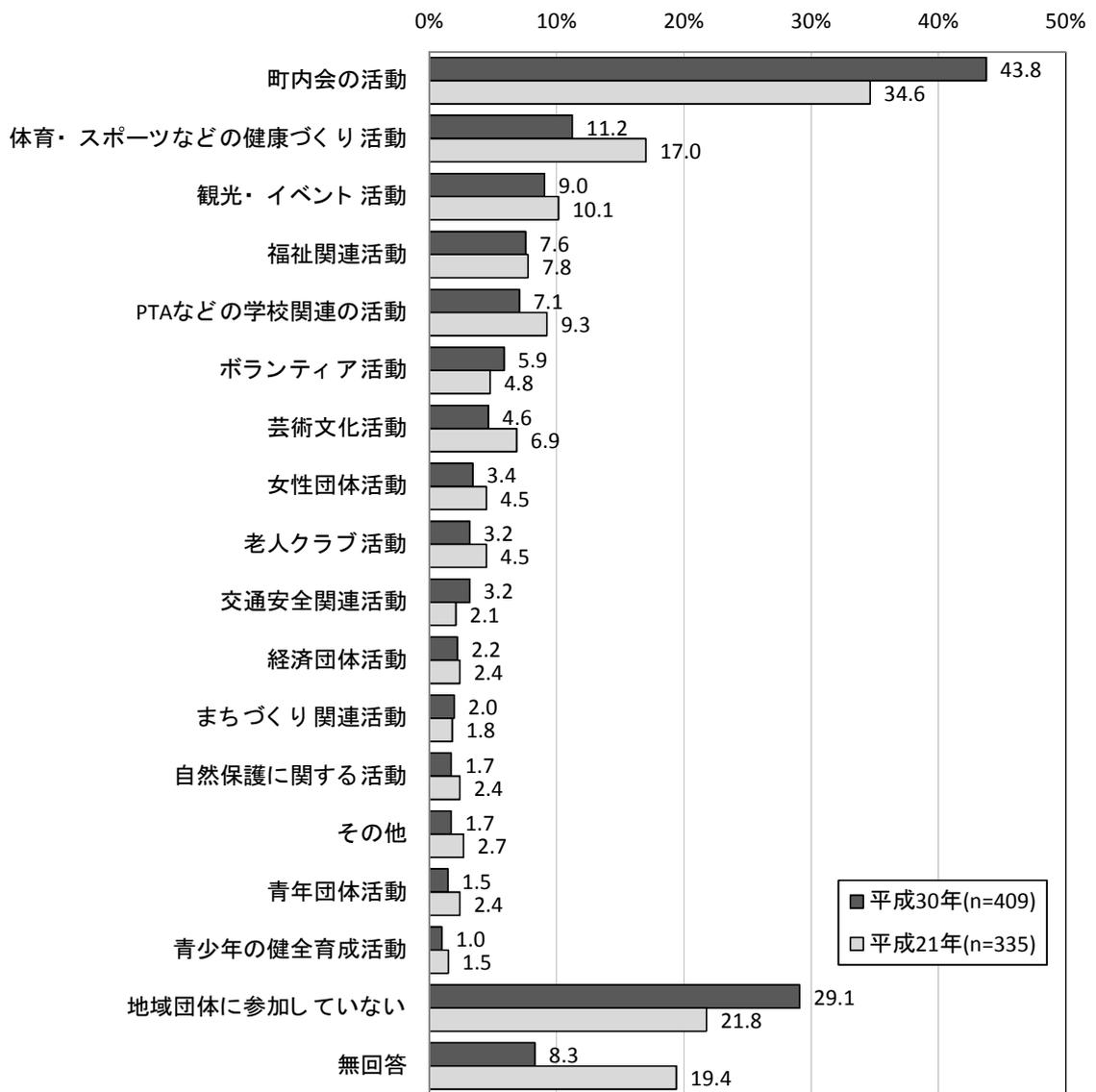
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 参加している地域団体活動

参加している地域団体活動は、「町内会の活動」(43.8%)が最も多く4割以上を占め、次いで「体育・スポーツなどの健康づくり活動」(11.2%)、「観光・イベント活動」(9.0%)と続いています。一方、「地域団体に参加していない」も29.1%で、非常に高い割合となっています。

平成21年調査と比べると、上位回答野中では、「町内会の活動」が増加しており、「体育・スポーツなどの健康づくり活動」は減少しています。

問18 あなたは現在、どのような地域団体に参加していますか。(あてはまるものすべてに○印)



【その他の内容】

- ことぶき大学
- 退職者の会
- 加工センター使用団体
- 地域団体

男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、ともに「町内会の活動」が最も多くなっています。一方、「地域団体に参加していない」が女性は32.4%で、男性と比べて8ポイント程度高くなっています。

○年齢階級別でみると、30歳代以上は「町内会の活動」が最も多いものの、40歳代未満は「地域団体に参加していない」が最も多く、特に、20歳未満はその割合が78.6%と突出しています。

		n	町内会の活動	体育・スポーツなどの 康づくり活動	観光・イベント 活動	福祉関連活動	PTAなどの学 校関連の活動	ボランティア 活動
全体		409	43.8	11.2	9.0	7.6	7.1	5.9
性別	男性	157	49.7	12.7	14.6	7.0	4.5	5.7
	女性	185	43.2	9.2	5.4	5.4	10.3	5.9
年齢	20歳未満	14	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3
	20歳代	31	35.5	19.4	0.0	0.0	6.5	3.2
	30歳代	38	39.5	10.5	5.3	0.0	21.1	2.6
	40歳代	53	56.6	17.0	18.9	3.8	26.4	7.5
	50歳代	69	42.0	15.9	17.4	7.2	2.9	1.4
	60歳代	77	50.6	3.9	10.4	16.9	2.6	6.5
	70歳以上	110	45.5	8.2	4.5	9.1	0.0	8.2

(%)

		n	芸術文化活動	女性団体活動	老人クラブ 活動	交通安全 関連活動	経済団体活動	まちづくり 関連活動
全体		409	4.6	3.4	3.2	3.2	2.2	2.0
性別	男性	157	3.8	0.0	2.5	5.1	3.2	4.5
	女性	185	5.4	5.4	3.2	2.2	0.0	0.5
年齢	20歳未満	14	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
	20歳代	31	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
	30歳代	38	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	53	5.7	1.9	0.0	3.8	1.9	3.8
	50歳代	69	7.2	0.0	0.0	5.8	2.9	2.9
	60歳代	77	3.9	6.5	2.6	3.9	3.9	2.6
	70歳以上	110	6.4	5.5	10.0	2.7	2.7	0.9

		n	自然保護に 関する活動	その他	青年団体活動	青少年の 健全育成活動	地域団体に参 加していない	無回答
全体		409	1.7	1.7	1.5	1.0	29.1	8.3
性別	男性	157	3.2	1.9	2.5	0.0	24.8	7.6
	女性	185	0.5	2.2	0.5	1.1	32.4	7.0
年齢	20歳未満	14	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	0.0
	20歳代	31	3.2	0.0	3.2	3.2	51.6	3.2
	30歳代	38	0.0	5.3	10.5	0.0	28.9	5.3
	40歳代	53	1.9	1.9	1.9	0.0	15.1	5.7
	50歳代	69	0.0	0.0	0.0	0.0	26.1	7.2
	60歳代	77	1.3	1.3	0.0	2.6	26.0	9.1
	70歳以上	110	3.6	2.7	0.0	0.0	25.5	11.8

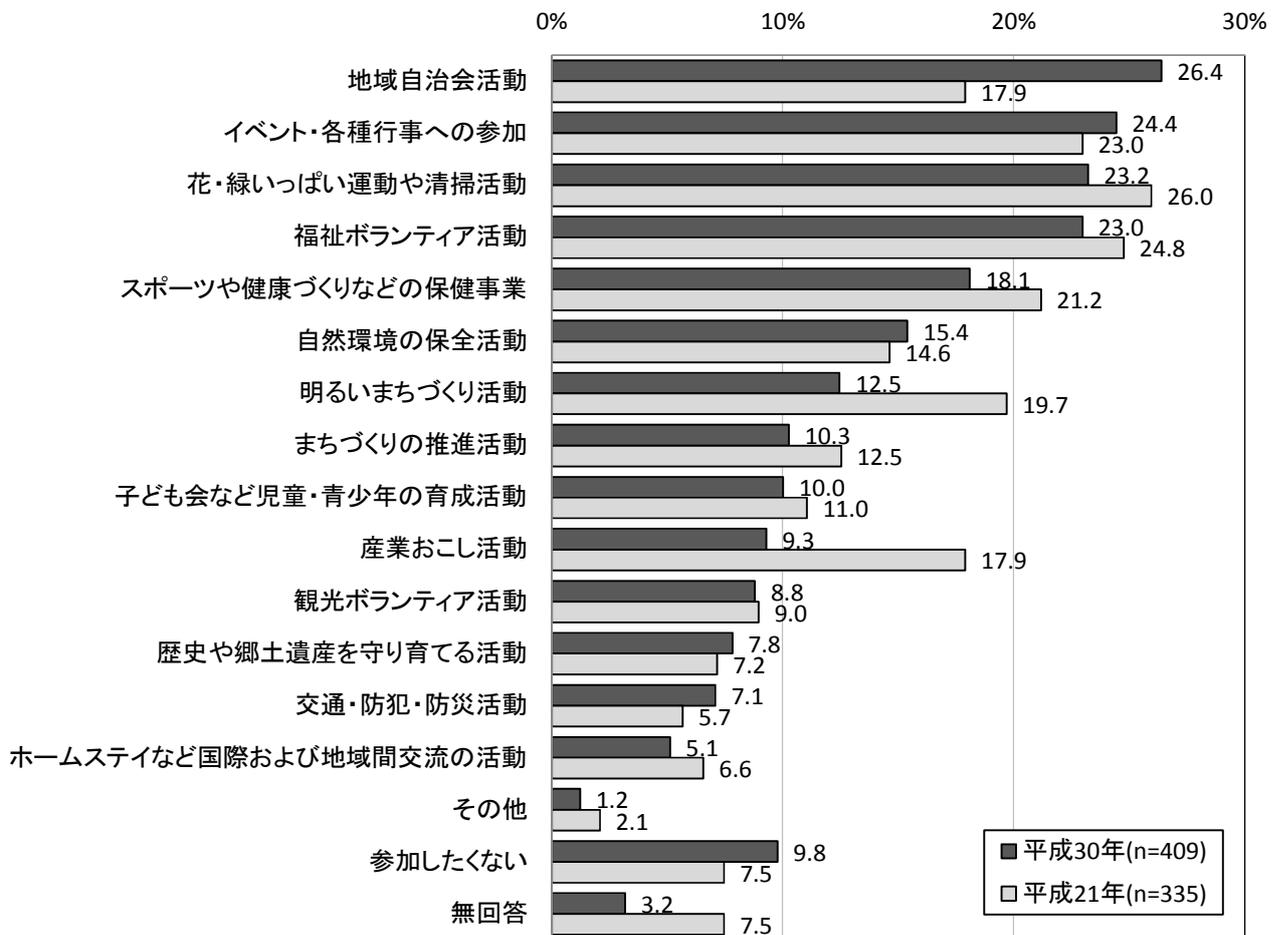
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(4) まちづくりで参加したい活動

まちづくりで参加したい活動は、「地域自治会活動」が 26.4%で最も多く、次いで「イベント・各種行事への参加」(24.4%)、「花・緑いっぱい運動や清掃活動」(23.2%)及び「福祉ボランティア活動」(23.0%)が続いています。

平成 21 年調査との比較では、「地域自治会活動」は 8.5 ポイント増加していますが、「明るいまちづくり活動」「産業おこし活動」は減少しています。

問 19 まちづくりを進めるうえで、町民のみなさんの参加が必要です。町民一人ひとりが「何かを受け持つ」とすれば、どんな活動に参加したいですか。(3つまで○印)



男女別・年齢階級別の集計

○男女別でみると、男性は「地域自治会活動」が、女性は「花・緑いっぱい運動や清掃活動」がそれぞれ最も多くなっています。

○年齢階級別でみると、70歳代以上では「町内会の活動」が、50歳代と30歳代以下の年代では「イベント・各種行事への参加」が最も多くなっています。一方、「参加したくない」は20歳未満では20%を超えています。

(%)

		n	地域自治会活動	イベント・各種行事への参加	花・緑いっぱい運動や清掃活動	福祉ボランティア活動	スポーツや健康づくりなどの保健事業	自然環境の保全活動
全体		409	26.4	24.4	23.2	23.0	18.1	15.4
性別	男性	157	32.5	20.4	11.5	15.9	21.7	19.1
	女性	185	24.3	29.2	33.0	26.5	16.2	10.8
年齢	20歳未満	14	14.3	35.7	21.4	7.1	21.4	7.1
	20歳代	31	12.9	25.8	22.6	12.9	22.6	12.9
	30歳代	38	7.9	34.2	18.4	18.4	23.7	13.2
	40歳代	53	17.0	30.2	7.5	22.6	32.1	15.1
	50歳代	69	27.5	36.2	20.3	20.3	17.4	14.5
	60歳代	77	31.2	19.5	23.4	32.5	19.5	16.9
	70歳以上	110	42.7	13.6	34.5	25.5	5.5	14.5

		n	明るいまちづくり活動	まちづくりの推進活動	子ども会など児童・青少年の育成活動	産業おこし活動	観光ボランティア活動	歴史や郷土遺産を守り育てる活動
全体		409	12.5	10.3	10.0	9.3	8.8	7.8
性別	男性	157	10.2	14.0	7.0	16.6	9.6	9.6
	女性	185	14.6	6.5	13.5	4.3	8.6	7.0
年齢	20歳未満	14	0.0	0.0	28.6	14.3	21.4	7.1
	20歳代	31	6.5	6.5	22.6	12.9	0.0	9.7
	30歳代	38	10.5	13.2	23.7	7.9	15.8	0.0
	40歳代	53	13.2	5.7	28.3	5.7	9.4	7.5
	50歳代	69	13.0	14.5	4.3	11.6	17.4	5.8
	60歳代	77	13.0	14.3	0.0	14.3	6.5	11.7
	70歳以上	110	16.4	7.3	0.9	5.5	2.7	9.1

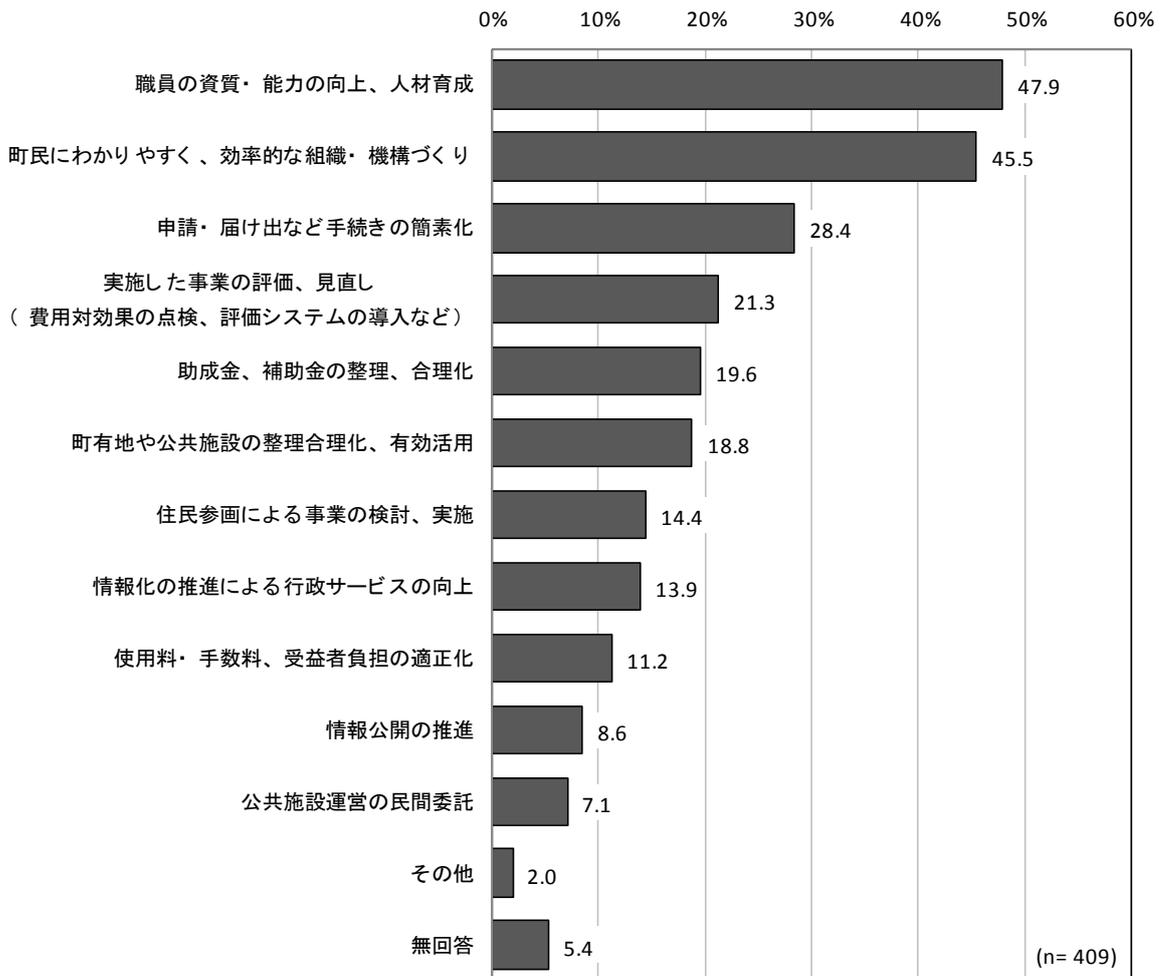
		n	交通・防犯・防災活動	ホームステイなど国際および地域間交流の活動	その他	参加したくない	無回答
全体		409	7.1	5.1	1.2	9.8	3.2
性別	男性	157	10.2	6.4	1.9	8.9	3.8
	女性	185	3.2	4.3	1.1	10.8	1.6
年齢	20歳未満	14	0.0	21.4	0.0	21.4	0.0
	20歳代	31	9.7	9.7	3.2	16.1	0.0
	30歳代	38	10.5	5.3	0.0	13.2	5.3
	40歳代	53	11.3	5.7	1.9	3.8	0.0
	50歳代	69	2.9	5.8	0.0	8.7	0.0
	60歳代	77	7.8	3.9	2.6	5.2	5.2
	70歳以上	110	7.3	1.8	0.9	11.8	5.5

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(5) 行政サービスや財政運営で、役場が特に進めていくべき項目

行政サービスや財政運営で、役場が特に進めていくべき項目については、「職員の資質・能力の向上、人材育成」(47.9%)と「町民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくり」(45.5%)が他の回答を引き離して多くなっています。

問 20 今後、行政サービスや財政運営で、役場が特に進めていくべき項目は何だと思えますか。
(3つまで○印)



【その他の内容】

- ・最重要と考えます。役場内、人事評価と給与体系の健全適正化。
- ・土日など休日しか役場に行けない人のために時間外窓口を作ってほしい。愛想悪い人ばかりなのでサービス業と認識してほしい。
- ・町営住宅の家賃の見直し。
- ・職員も小中学生の挨拶を見習うべきではないか。庁舎に行っても知らないふりをしている職員が大半である。
- ・ひとりひとりについてアンケートを取ってください。役場の人はクビにならないからなのか、仕事してない人が多い。

男女別・年齢階級別の集計

○男女別にみても、ともに「職員の資質・能力の向上、人材育成」と「町民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくり」が上位回答となっています。

○年齢階級別にみても、各年代とも「職員の資質・能力の向上、人材育成」と「町民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくり」が上位回答となっています。

(%)

		n	職員の資質・能力の向上、人材育成	町民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくり	申請・届け出など手続きの簡素化	実施した事業の評価、見直し(費用対効果の点検、評価システムの導入など)	助成金、補助金の整理、合理化
全体		409	47.9	45.5	28.4	21.3	19.6
性別	男性	157	49.7	41.4	20.4	19.7	17.2
	女性	185	45.4	50.8	32.4	20.0	21.1
年齢	20歳未満	14	64.3	14.3	50.0	21.4	42.9
	20歳代	31	48.4	51.6	22.6	9.7	19.4
	30歳代	38	36.8	44.7	23.7	18.4	26.3
	40歳代	53	54.7	34.0	18.9	30.2	28.3
	50歳代	69	50.7	42.0	18.8	21.7	15.9
	60歳代	77	50.6	42.9	35.1	22.1	9.1
	70歳以上	110	43.6	59.1	33.6	19.1	20.9

		n	町有地や公共施設の整理合理化、有効活用	住民参画による事業の検討、実施	情報化の推進による行政サービスの向上	使用料・手数料、受益者負担の適正化	情報公開の推進
全体		409	20.8	20.5	17.4	16.4	13.9
性別	男性	157	21.0	22.9	10.8	16.6	8.9
	女性	185	22.7	20.0	22.2	17.3	14.6
年齢	20歳未満	14	14.3	7.1	7.1	28.6	14.3
	20歳代	31	22.6	22.6	9.7	25.8	0.0
	30歳代	38	34.2	21.1	5.3	2.6	2.6
	40歳代	53	22.6	13.2	7.5	15.1	9.4
	50歳代	69	24.6	18.8	21.7	10.1	5.8
	60歳代	77	11.7	16.9	14.3	10.4	11.7
	70歳以上	110	12.7	8.2	15.5	9.1	11.8

		n	公共施設運営の民間委託	その他	無回答
全体		409	7.1	2.0	5.4
性別	男性	157	7.0	1.9	5.7
	女性	185	7.0	2.2	4.9
年齢	20歳未満	14	0.0	7.1	0.0
	20歳代	31	12.9	0.0	3.2
	30歳代	38	13.2	5.3	2.6
	40歳代	53	3.8	1.9	1.9
	50歳代	69	5.8	1.4	2.9
	60歳代	77	6.5	2.6	7.8
	70歳以上	110	7.3	0.0	9.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目